11n 対応 130 万画素ネットワークカメラ

CS-W05NM

User's Manual

目次

第 1 章:本製品について

1.1 付属品

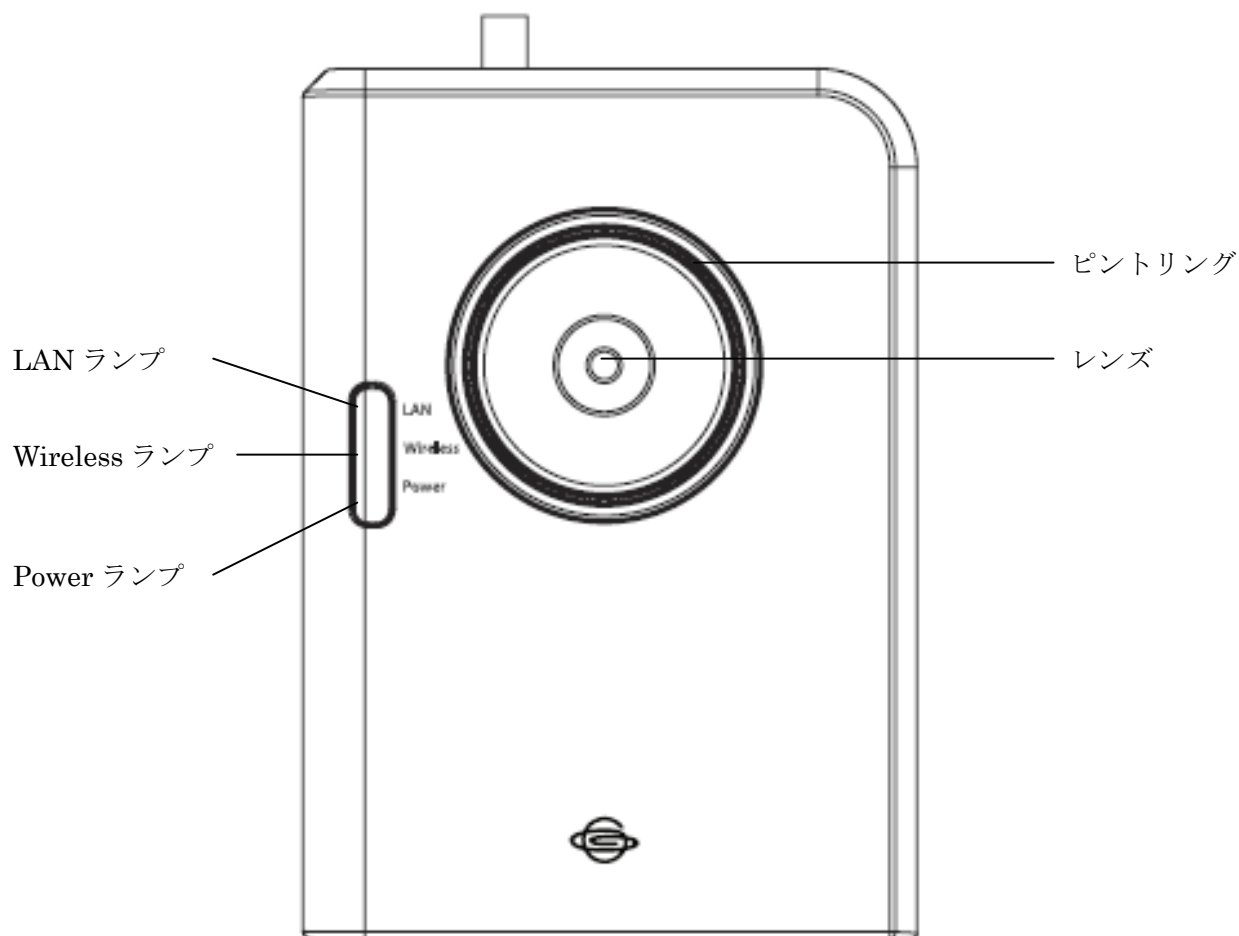
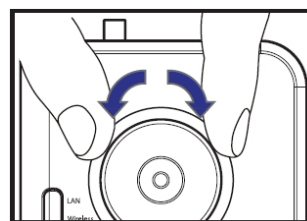
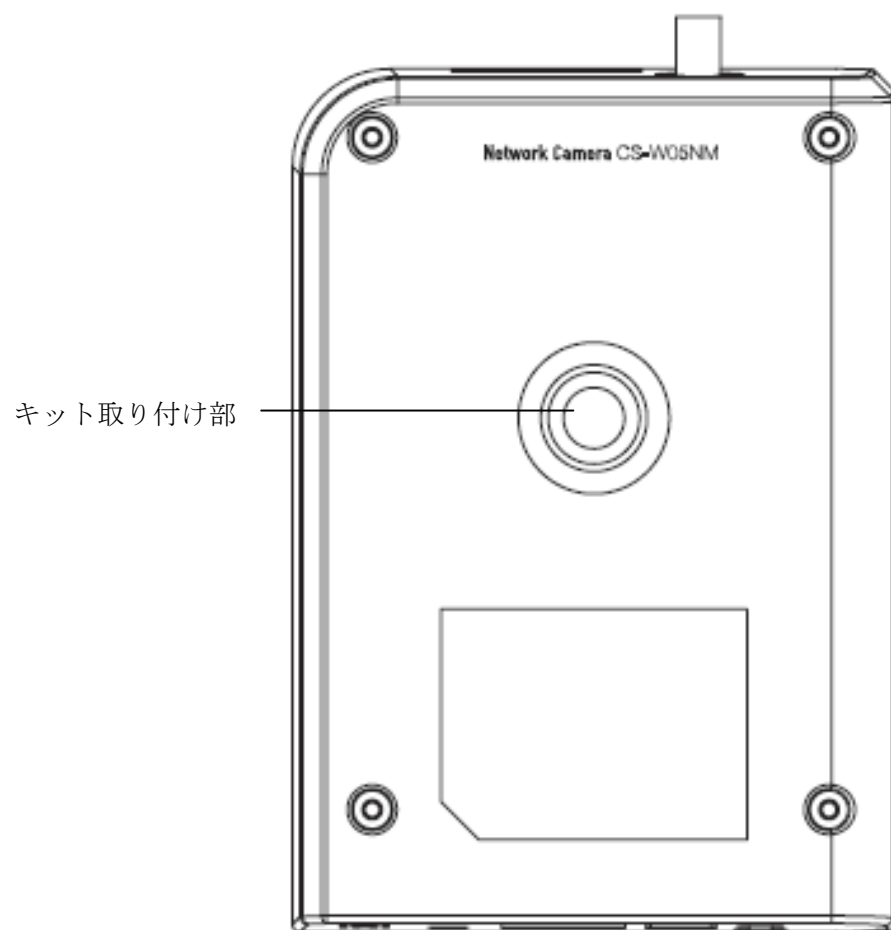
本製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品をご使用になる前に、同梱されている付属品をご確認ください。パッケージ内容に欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

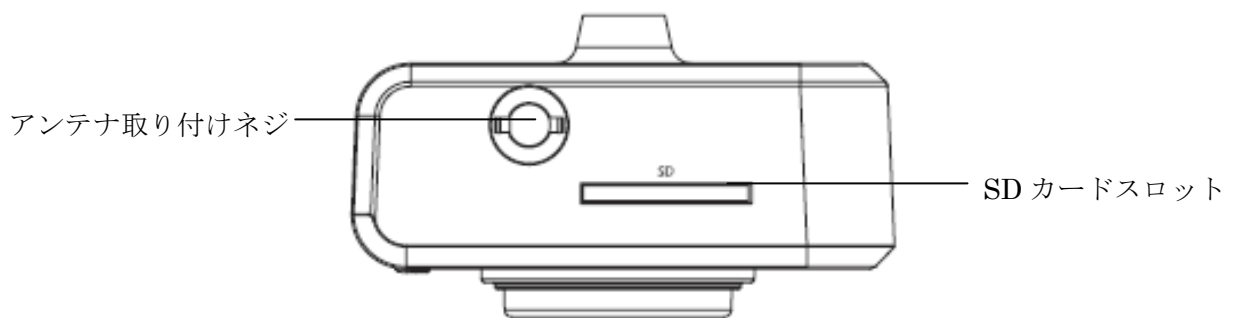
	同梱物	数量	
1	CS-W05NM(本製品)	1	□
2	AC アダプタ	1	□
3	LAN ケーブル	1	□
4	アンテナ	1	□
5	壁取り付けキット	1	□
6	レンズクリーナー	1	□
7	CD-ROM	1	□
8	スタートガイド	2	□
9	安全に関する説明書／保証書	1	□

1.2 本製品の特徴

- 無線(IEEE802.11n / g / b)・有線ネットワークに対応。有線:100Mbps、無線:最大 150Mbps の通信速度。無線 LAN 機能を搭載しているので、天井や壁面など LAN ケーブルの配線が困難な場所への設置が可能です。家庭や職場のセキュリティやお子様・ペットの監視など、外出先から自宅の様子を確認したり、玄関先に設置して監視したりすることが手軽にできます。
- マルチカメラ機能。付属 CD-ROM 内の「PCI Network Camera Viewer」を使うと、最大16台のカメラの動画を同時に確認することができます。この機能を使うことでアドレス入力やブラウザ切り替えの手間が無くなり設置カメラの管理が快適になります。
- 動体検知機能搭載。カメラが動体を感知するとスナップショットを撮影し FTP サーバにアップロード、またパソコンや携帯電話にメール送信が可能です。異変をいち早く察知することができます。
- Internet Explorer 6 (またはそれ以上)(以降ブラウザと略す)に本製品専用のプラグイン(ActiveX コントロール)をインストールするだけで、利用することができます。
- 3 つのビデオ解像度に対応。
  MPEG4:XGA (1024 x 768)、VGA (640 x 480) 、QVGA (320 x 240)
  MJPEG:SXGA (1280 x 1024)、VGA (640 x 480)、QVGA (320 x 240)
  H.264:SXGA (1280 x 1024)、VGA (640 x 480)、QVGA (320 x 240)
  に対応しています。
- フリッカー防止機能。AC 電源の周波数(50/60Hz)を選択、蛍光灯の明かりによるちらつきを除去します。
- 明るさやデジタルズームなどのビデオコントロール機能。
- 無線 LAN 使用時にデータを暗号化 (WEP / WPA / WPA2)、セキュリティを強化します。
- DHCP/PPPoE プロトコル対応。固定 IP アドレスをカメラに割り当てることもできます。
- ダイナミック DNS 対応。お使いの ISP で固定インターネットアドレスを割り当てできないときに、本製品のインターネットアドレスを割り当てるのに使用します。
- UPnP を使用し Windows XP(以降)で、ネットワーク上のカメラを自動的に検出します。
- 動体検知の感度を最高から最低まで 10 段階で設定できます。
- 日付や時刻の情報が撮影した静止画や録画した動画に記録されます(PC、または NTP サーバと同期することで、時刻を取得します。)。
- 16 ユーザまでのアカウント登録が可能。各ユーザに異なるパスワードを設定、ユーザごとにアクセスコントロールが可能です。
- iPhone 用アプリの「PCI VIEWER」を使いことにより、iPhone からカメラ画像をモニタリングすることができます。

1.3 各部の名称とはたらき

本製品各部の名称について説明します。

レンズ	カメラのレンズ部です。
ピントリング	ピントを調整します。 左へ回す：近くにピントを合わせる 右へ回す：遠くにピントを合わせる ※モニタ画面を確認しながら調整してください。
LAN ランプ	有線 LAN の状態を表示します。
Wireless ランプ	無線 LAN の状態を表示します。
Power ランプ	電源の状態を表示します

本体背面

キット取り付け部	壁取り付けキットを接続します。

本体上面

本体底面

アンテナ取り付けネジ	アンテナを接続します。
SD カードスロット	写真、または映像を記録する SD/SDHC メモリカードを挿入します。
WPS／リセットボタン	≪WPS 機能≫ ボタンを『カチッカチッ』と 2 回押すと、Wireless ランプが点滅します。 無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）の WPS ボタンを押して、無線 LAN 接続します。 ≪リセット（初期化）≫ ボタンを 10 秒以上長押しし、Power ランプ・Wireless ランプ・LAN ランプが消灯したら手を離します。本製品を工場出荷時の設定にリセットし再起動します。
電源コネクタ	付属の AC アダプタを取り付けます。
LAN ポート	ご使用のローカルエリアネットワークと付属の LAN ケーブルで接続します。
音声出力端子	音声出力用の外部スピーカーを接続します。
内蔵マイク	音声を入力します。

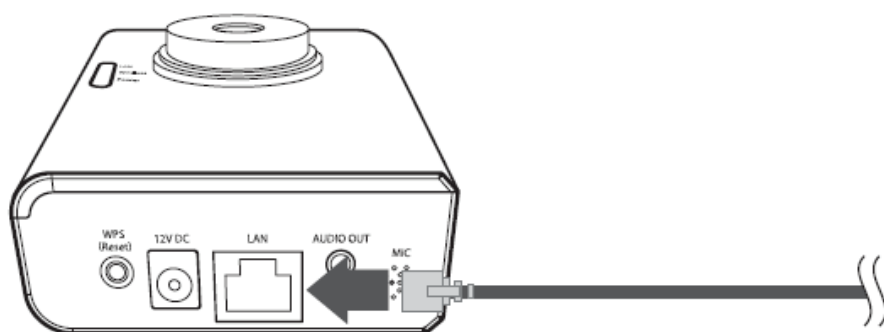
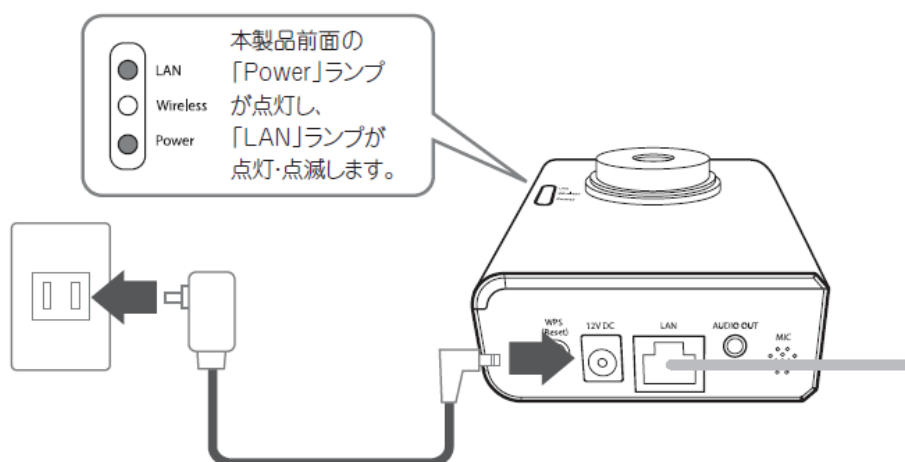
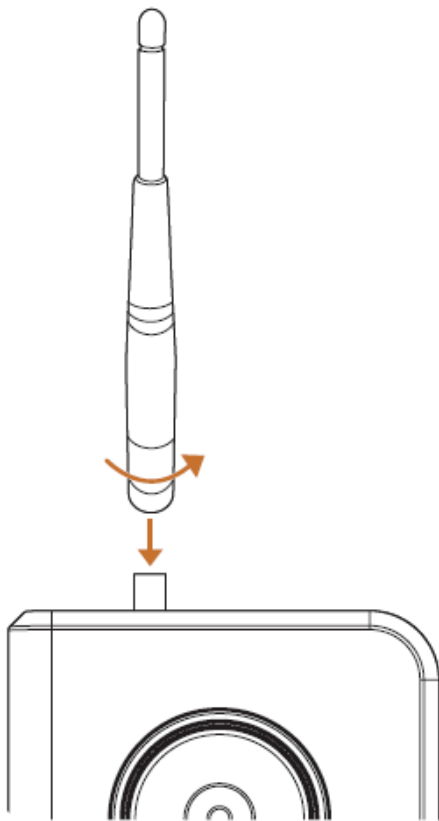
1.4 ランプの動作

ランプの名称	色	状態	動作
LAN	緑	消灯	有線 LAN 機能が無効です。
		点灯	有線 LAN 機能が有効です。
		点滅	有線 LAN によるデータ送受信が行われています。
Wireless	緑	消灯	無線 LAN 機能が無効です。
		点灯	無線 LAN 機能が有効です。
		点滅	無線 LAN によるデータ送受信が行われています。
Power	青	消灯	電源が入っていない状態です。
		点灯	電源が入っている状態です。

1.5 本製品の設置

以下の手順を行って、本製品を設置してください。

1. 本製品のパッケージを開けて、付属品の欠品がないか確認してください。

2. 付属の LAN ケーブルの一端をお使いのローカルエリアネットワークに接続し、他方の一端を本製品の LAN ポートに接続します。

3. 本製品底面の「電源コネクタ」とコンセントを、付属の AC アダプタで接続します。
（本製品前面の「Power」ランプが点灯、「LAN」ランプが点灯・点滅し、電源がオンになります）

4.　（無線で使用時のみ）付属のアンテナを、本製品背面のアンテナ取り付け部に取り付けます。

次に「1.6　ネットワークの設定をする」を参照して本製品のネットワーク設定を行ってください。

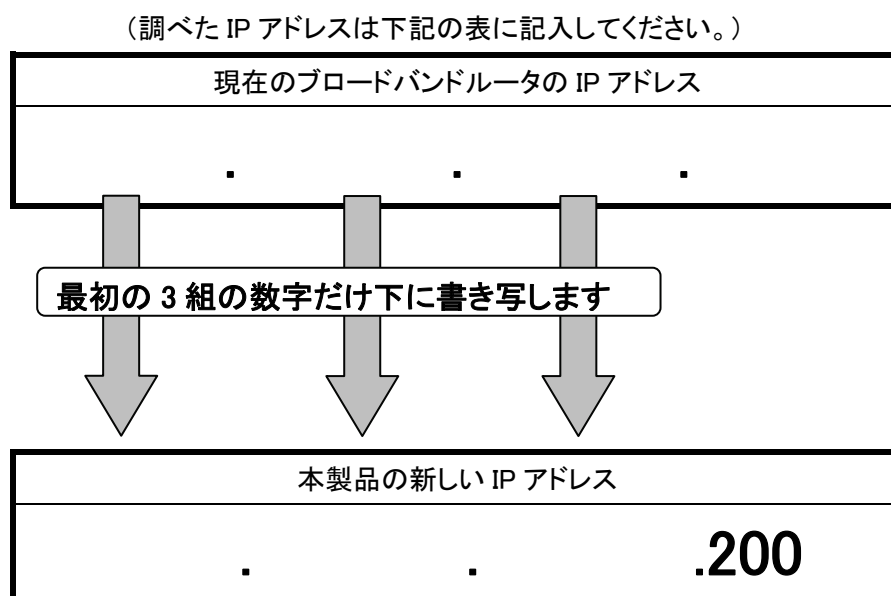
1.6 ネットワークの設定をする

1.6.1 はじめに

本製品の IP アドレスは「192.168.1.200」に設定されています。ルータの IP アドレスが「192.168.1.1」に設定されており、ネットワークカメラを 1 台のみ設置する場合は特に変更することなくそのままお使いになれます。
ただし、他の機器で既に同じ IP アドレス「192.168.1.200」を利用しているときは、下記の手順に従って変更する必要があります。複数のネットワークカメラを設置したい場合、1 台目を「192.168.1.201」、2 台目を「192.168.1.202」というように、 IP アドレスが重複しないように割り当ててください。

1.6.2 使用中のネットワークを調べる

本製品の接続や設定の前に、お使いのブロードバンドルータの IP アドレスを調べる必要があります。調べた IP アドレスをメモに控えてください。
※ここで調べた IP アドレスは、P18 の「ネットワーク設定」画面で使用します。
※確認方法がわからないときは、ブロードバンドルータの取扱説明書を参照してください。

（調べた IP アドレスは下記の表に記入してください。）

※例えば、ブロードバンドルータの LAN 側の IP アドレスが「192.168.1.1」のとき、本製品の IP アドレスは「192.168.1.200」となります。しかし、「192.168.1.200」が同一ネットワーク内で他のネットワーク機器と重複するときは、最後の「200」の値を、他と重複しない「199」「202」などの数値にしてください。

1.6.3 セットアップユーティリティのインストール

IPCam Admin Utility を使ってご使用のローカルエリアネットワークに接続されているカメラを検索することができます。IPCam Admin Utility は、ご使用のローカルエリアネットワークに接続されている複数のカメラを検索することもできます。以下の手順より IPCam Admin Utility をインストールしてお使いください。

1. 本製品付属の CD-ROM をパソコンの CD/DVD-ROM ドライブにセットすると以下の画面が表示されます。「セットアップユーティリティ」をクリックしてください。

≪ご注意≫

●Windows 7/Vista をお使いのとき

・自動再生画面が表示されたときは、「AutoLoader.exe の実行」をクリックします。

・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい]または[許可]をクリックします。

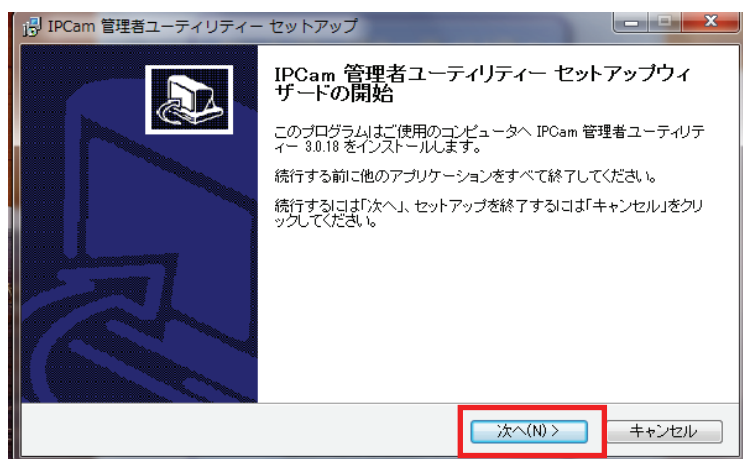
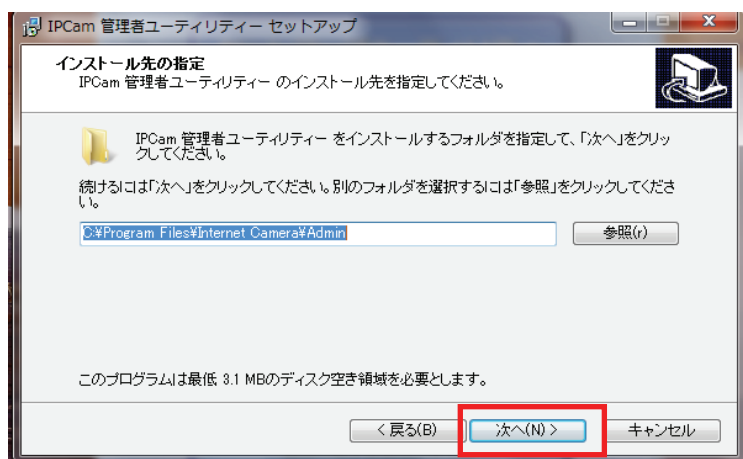
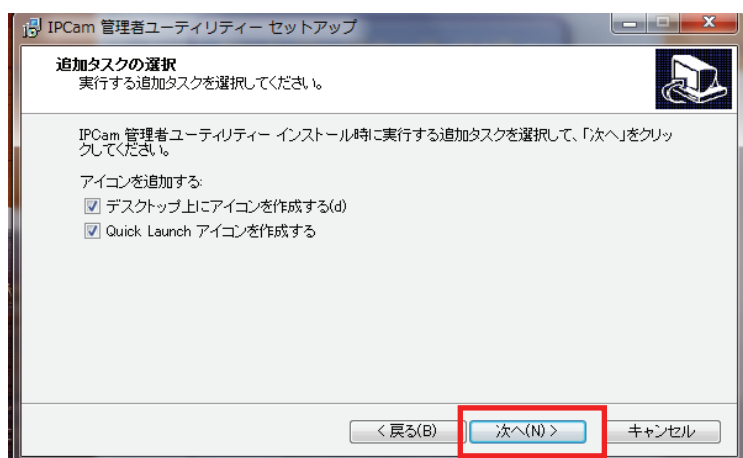
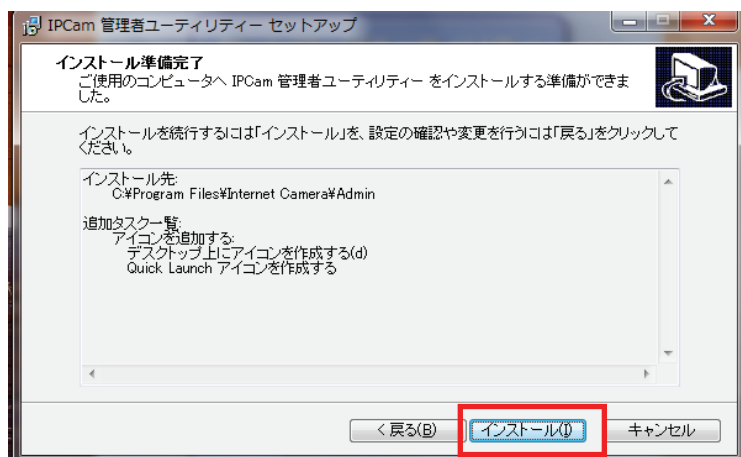
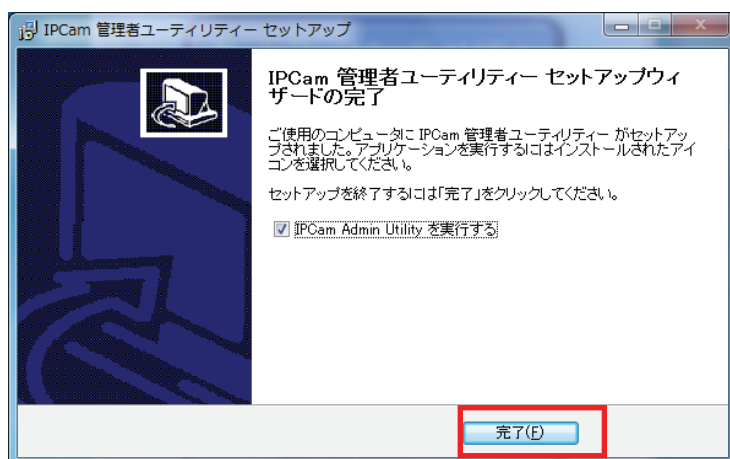
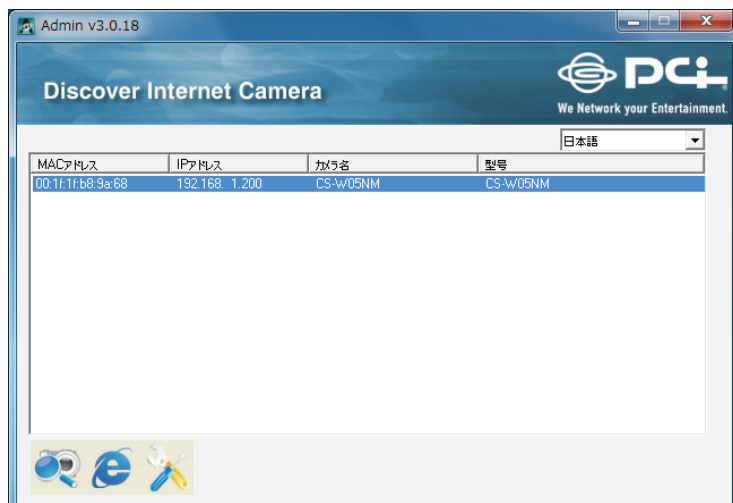
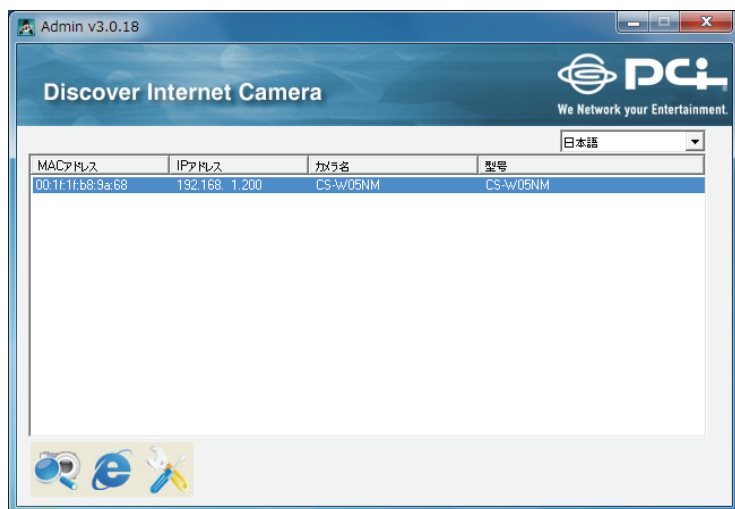
●メニュー画面が表示されないとき

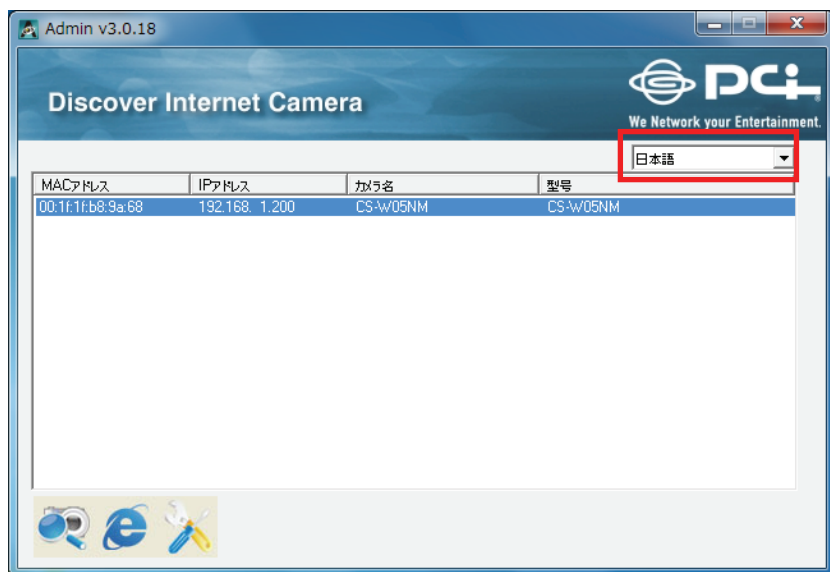
・「コンピュータ」(またはマイコンピュータ)を開き、CD/DVD ドライブのアイコンをダブルクリックします。

●お使いのパソコンに CD/DVD ドライブがないとき

・以下の URL よりソフトウェアをダウンロードしてください。

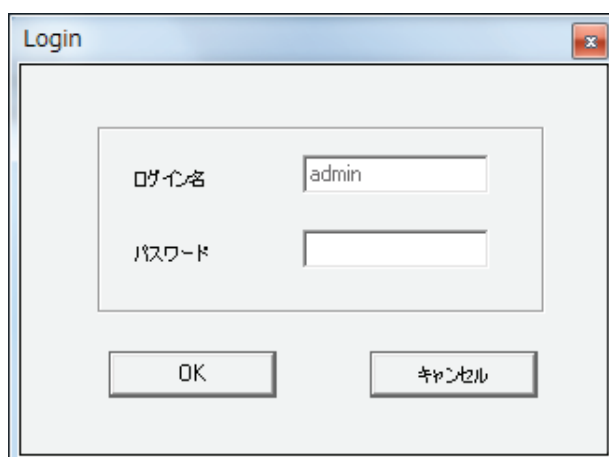
http://www.planex.co.jp/support/download/camera/cs-w05nm.shtml

2.　セットアップウィザードが表示されますので、「次へ(N)>」をクリックします。

3.　「インストール先の指定」が表示されますので、そのまま「次へ(N)>」をクリックします。

4.　「追加タスクの選択」が表示されますので、「次へ(N)>」をクリックします。

5. 「インストール準備完了」が表示されますので、「インストール(I)」をクリックします。

6. 「セットアップウィザードの完了」が表示されますので、「完了(F)」をクリックします。

7. セットアップユーティリティが起動します。

カメラに関する情報がここで表示されます。アイコンの詳細やその他の機能については以下をご覧ください。

言語設定:

本ソフトは日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、の 3 ヶ国語に対応しています。ソフトの画面の右上にあるプルダウンメニューから言語を選んでください。

カメラの検索:

ローカルエリアネットワーク上のすべてのカメラを検索します。

WEB 接続:

検索されたカメラ(一覧表)の中から表示させたい、または設定したいカメラを選び、このボタンをクリックして WEB 経由でカメラに接続します。

カメラの設定:

カメラのネットワークとセキュリティの設定をします。カメラのパスワードの入力画面が表示されます。

上記の「カメラの設定」をクリックすると、下記の画面が表示されます。パスワード(初期設定:password)を入力して、[OK]をクリックします。カメラのネットワークとセキュリティ設定画面が表示されます。

「ネットワーク設定」タブでは、カメラのネットワークを設定できます。設定後、[OK]をクリックして、設定を保存します。

（DHCP）

カメラの IP アドレスをローカルエリアネットワークの DHCP サーバから自動的に取得するように設定します。

（IP アドレス固定）

IP アドレス	：	P13 の「1.6.2 使用中のネットワークを調べる」で調べた本製品の新しい IP アドレスを入力します。（例：192.168.1.200、192.168.111.200 など）
サブネットマスク	：	「255.255.255.0」のまま基本的には変更しません。
ゲートウェイ	：	P13 の「1.6.2 使用中のネットワークを調べる」で調べたブロードバンドルータの IP アドレスを入力します。例：192.168.1.1、192.168.111.1 など）
DNS サーバー	：	P13 の「1.6.2 使用中のネットワークを調べる」で調べたブロードバンドルータの IP アドレスを入力します。例：192.168.1.1、192.168.111.1 など）
Web ポート	：	「80」のまま基本的には変更しません。

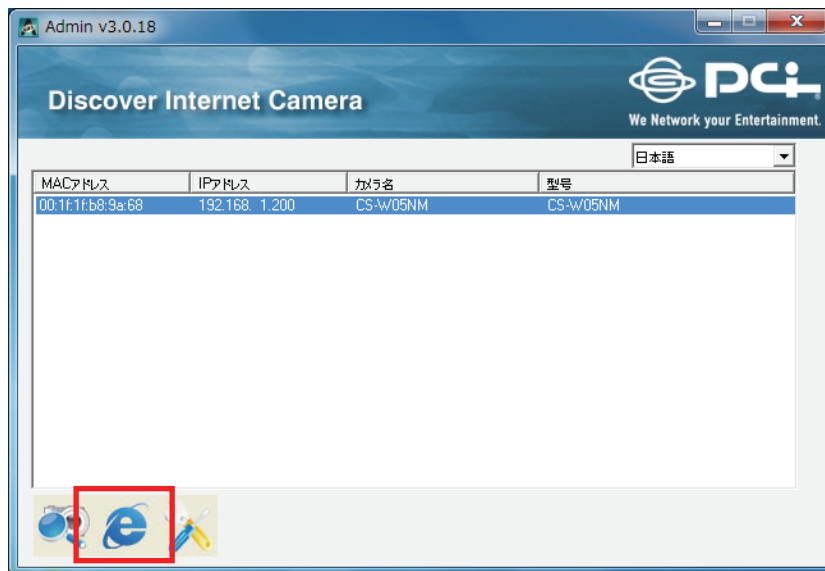
「パスワード設定」タブでは、ユーティリティに表示するカメラ名とパスワードの変更ができます。設定後、[OK]をクリックして設定内容を保存します。または、[Cancel]をクリックすると変更を取りやめることができます。

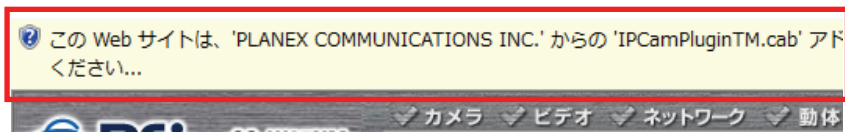
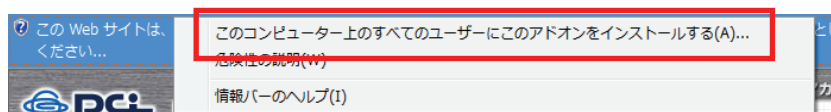
※　ユーザ名は「admin」で、変更することはできません。

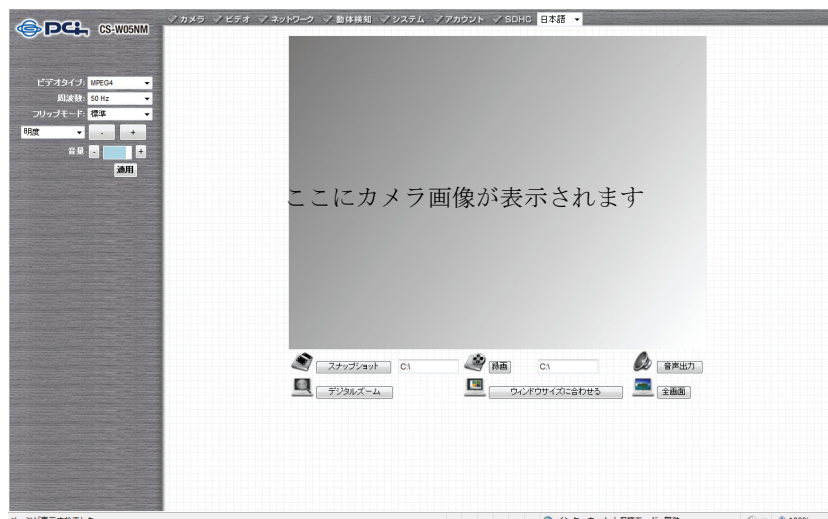
※　パスワードを新しく設定するときは、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に同じパスワードを入力してください。

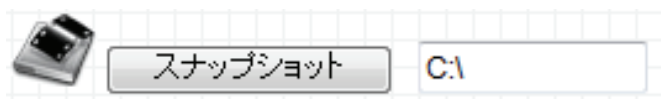
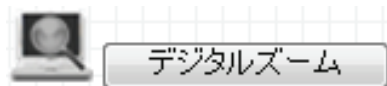
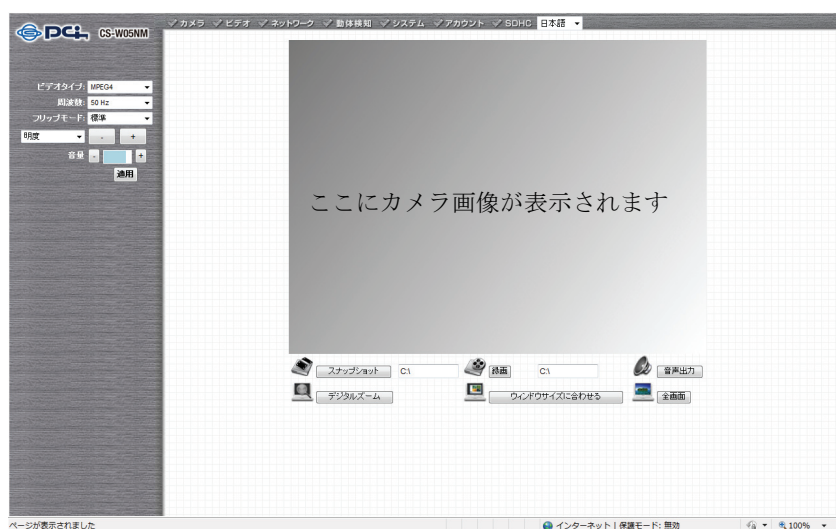
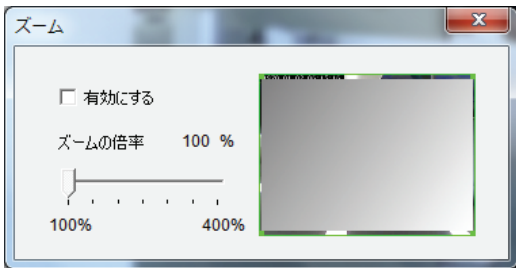
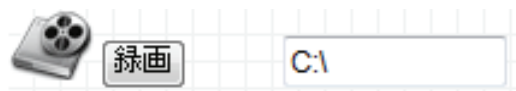
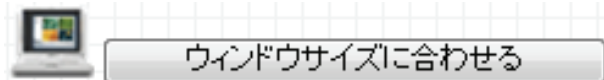
1.7 WEB 設定画面を開く

カメラの WEB 設定画面にログインする手順を説明します。

1. [WEB 接続]をクリックします。

2. ログイン画面が表示されますので、下記のログイン名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。
   (1)ユーザ名：半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
   (2)パスワード：半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー)を入力
   (3)[OK]をクリックします。

3. 設定画面内に、「アドオンをインストールしようとしています・・・」「次の ActiveX コントロールをインストールするには・・・」などの表示がされますので、文字部分をクリックします。

4. 「このコンピューター上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする(A)」をクリックします。
   ※「ActiveX コントロールのインストール...」と表示されたときは、「ActiveX コントロールのインストール...」をクリックします。

5. 「このソフトウェアをインストールしますか？」が表示されますので、「インストールする(I)」をクリックします。
   ※下記の画面が表示されないときは、次の画面に進んでください。

6. カメラ画像が表示される事を確認します。

第 2 章:WEB 設定画面を使う

2.1 カメラ設定

WEB設定画面にログインすると、最初に「カメラ」画面が表示されます。カメラからの映像をリアルタイムで見られるのはこの画面のみです

他の画面を表示しているときに、WEB設定画面のトップにある「カメラ」をクリックすると、
この画面に戻ります。

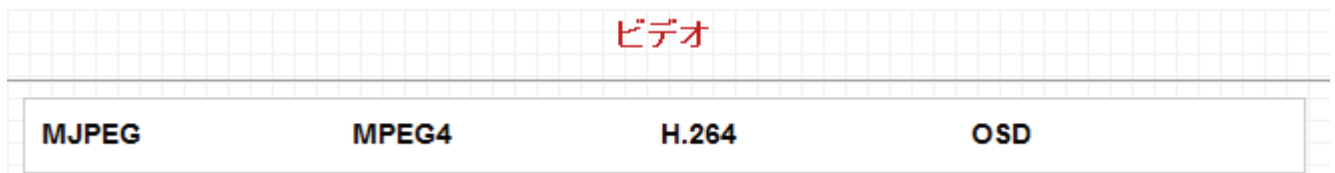
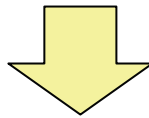
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ビデオタイプ	映像のエンコードタイプを選びます。「MJPEG」または「MPEG4」、「H.264」の中から選べます。エンコードタイプの詳細設定は「ビデオ」設定にて変更が可能です。詳細については、「2.2. ビデオ設定」を参照してください。
周波数	本製品に映された場所で蛍光灯が使われているときは、その映像がちらついて見えることがあります。そのときは、「周波数」を蛍光灯の電力の周波数に合わせて設定することで、画質を効果的に改善することができます。一般的には、東日本のときは「50Hz」、西日本のときは「60Hz」にて使用しますが、よりちらつきが少ないものを選んでください。
フリップモード	カメラを水平な場所に設置せず、天井や壁に設置するときは、表示された映像を回転させることができます。 「標準」以外に、「垂直」「水平」「180 度回転」の中から選べます。
明度／彩度／シャープネス	表示される画像の明るさ、コントラストを調整して、画質を調節します。 これらの設定をすることにより、映像をより鮮明に見ることができます。
音量	映像音声の音量を調整します。
スナップショット	[スナップショット]をクリックして、表示された映像を画像ファイルとして保存します。 [スナップショット]をクリックすると、ファイル名と画像ファイルの保存先が表示されます（ファイル名の初期設定は、日付と時間です）。 データ保存先の初期設定は「C:¥」です。[スナップショット]ボタンの右の欄をクリックすると、データの保存先を変更することができますので、必要に応じて新しいデータ保存先を指定してください。 **ご注意**：SD/SDHC カードに保存されるのは、動体検知機能により撮影された静止画のみとなります。詳細については、「2.4.5 SD カード設定」を参照してください。
デジタルズーム	[デジタルズーム]をクリックすると、撮影した映像の一部を拡大することができます。

	デジタルズーム機能を有効にするには、「有効にする」にチェックを入れてください。 スライドバーを動かしてズームの倍率を調節してください。マウスを使ってズームエリア(緑色の四角)をドラッグすれば、ズームエリアを再配置することができます。
録画	[録画]をクリックすると、表示されている映像が、AVI 形式の映像ファイルとして録画されます。録画された映像ファイルを、Windows Media Player で再生することができます。 録画を止めるには、[録画停止]をクリックします(同じボタンです)。 データ保存先の初期設定は「C:¥」です。[録画]の右の欄をクリックすると、データの保存先を変更することができますので、必要に応じて新しいデータ保存先を指定してください。 ご注意: ・ 映像が再生されない場合、Xvid コーデックが必要となります。Xvid の説明については、ここでは省略します。 ・ SD/SDHC カードに保存されるのは、動体検知機能により撮影された動画のみとなります。詳細については、「2.4.5 SD カード設定」を参照してください。
ウィンドウサイズに合わせる	[ウィンドウサイズに合わせる]をクリックすると、ブラウザの画面サイズに応じて映像の表示サイズを調整します。
音声出力	ご使用のパソコンのマイクに入力された音声をカメラの外部スピーカーに送信することができます。確認するときは、[音声出力]を押し続けながらマイクに向かって話してください。 外部スピーカーが接続されていないときは音声出力されません。
全画面	[全画面]をクリックすると、映像をフルスクリーンモードで表示します(カメラで撮影した映像を全画面で表示します)。 通常画面に戻るときは、[ESC]を押すか画面をダブルクリックしてください。

2.2 ビデオ設定

「ビデオ」メニューで、カメラ画像の項目を設定することができます。ビデオ形式、解像度、画質、フレームレートの設定を行うときは、「ビデオ」メニューより設定内容を変更してください。

WEB 設定画面のトップメニューから、「ビデオ」をクリックすると、4 つのサブメニューが表示されます。

各設定については、次項の説明を参照してください。

2.2.1　MJPEG

エンコードタイプ「MJPEG」形式の詳細設定を行います。

設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
ビデオ解像度	映像の解像度を設定します。「1280×480」、「640×120」、「320×240」の 3 つから選べます。 より高い解像度を選ぶと、被写体をより鮮明に映すことができます。ただし、伝送容量をより多く使うので、映像の更新が通常より遅くなります。インターネット接続の通信速度が遅いときは、映像の更新を早くするために低い解像度を選びます。解像度を「320×240」に設定すると、高解像度のパソコンのモニターでは映像が小さく表示されます。高解像度を選んで伝送容量をそのままにしたいときは、以下のビデオ画質設定をより低く設定してください。
ビデオ画質	カメラで撮影される映像の画質を設定します。「最高」から「最低」の 5 段階で選べます。 解像度と同様に、より高画質に設定すると、被写体をより鮮明に映すことができます。ただし、伝送容量をより多く使うので、映像の更新が通常より遅くなります。カメラが撮影している場所で、動いているものがあるかどうかのみを見るときは、より低い画質を選びます。

ビデオフレームレート	1 秒間に何回画面を書き換えるか設定します。 本製品の最も高いフレームレートは、テレビと同じ 30 です。ただし、伝送容量を制限したインターネット接続のときや、動きの少ない監視映像など、更新を速くする必要がないときは、フレームレートを特定の値に制限します。「30」、「15」、「10」、「5」、「3」、「1」の中から設定値を選びます。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.2.2　MPEG4

エンコードタイプ「MPEG4」形式の詳細設定を行います。

設定項目の内容は以下の通りです。

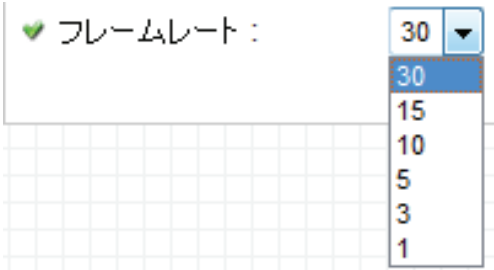
項目名	動作
ビデオ解像度	映像の解像度を設定します。「1280×480」、「640×120」、「320×240」の 3 つから選べます。 ビデオ解像度：640 x 480 ビデオ画質： フレームレート： 1280 x 1024 640 x 480 320 x 240 より高い解像度を選ぶと、被写体をより鮮明に映すことができます。ただし、伝送容量をより多く使うので、映像の更新が通常より遅くなります。インターネット接続の通信速度が遅いときは、映像の更新を早くするために低い解像度を選びます。解像度を「320×240」に設定すると、高解像度のパソコンのモニターでは映像が小さく表示されます。高解像度を選んで伝送容量をそのままにしたいときは、以下のビデオ画質設定をより低く設定してください。
ビデオ画質	カメラで撮影される映像の画質を設定します。「最高」から「最低」の 5 段階で選べます。 ビデオ画質：最高画質 フレームレート： 最高画質 高画質 標準 低画質 最低画質 解像度と同様に、より高画質に設定すると、被写体をより鮮明に映すことができます。ただし、伝送容量をより多く使うので、映像の更新が通常より遅くなります。カメラが撮影している場所で、動いているものがあるかどうかのみを見るときは、より低い画質を選びます。

ビデオフレームレート	1 秒間に何回画面を書き換えるか設定します。 本製品の最も高いフレームレートは、テレビと同じ 30 です。ただし、伝送容量を制限したインターネット接続のときや、動きの少ない監視映像など、更新を速くする必要がないときは、フレームレートを特定の値に制限します。「30」、「15」、「10」、「5」、「3」、「1」の中から設定値を選びます。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.2.3 H.264

エンコードタイプ「H.264」形式の詳細設定を行います。

H.264
ビデオ解像度：640 x 480
ビデオ画質：最高画質
フレームレート：30
適用

設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
ビデオ解像度	映像の解像度を設定します。「1280×480」、「640×120」、「320×240」の 3 つから選べます。 ビデオ解像度：640 x 480 ビデオ画質： フレームレート： 1280 x 1024 640 x 480 320 x 240 より高い解像度を選ぶと、被写体をより鮮明に映すことができます。ただし、伝送容量をより多く使うので、映像の更新が通常より遅くなります。インターネット接続の通信速度が遅いときは、映像の更新を早くするために低い解像度を選びます。解像度を「320×240」に設定すると、高解像度のパソコンのモニターでは映像が小さく表示されます。高解像度を選んで伝送容量をそのままにしたいときは、以下のビデオ画質設定をより低く設定してください。
ビデオ画質	カメラで撮影される映像の画質を設定します。「最高」から「最低」の 5 段階で選べます。 ビデオ画質：最高画質 フレームレート： 最高画質 高画質 標準 低画質 最低画質 解像度と同様に、より高画質に設定すると、被写体をより鮮明に映すことができます。ただし、伝送容量をより多く使うので、映像の更新が通常より遅くなります。カメラが撮影している場所で、動いているものがあるかどうかのみを見るときは、より低い画質を選びます。

ビデオフレームレート	1 秒間に何回画面を書き換えるか設定します。 フレームレート： 30 30 15 10 5 3 1 本製品の最も高いフレームレートは、テレビと同じ 30 です。ただし、伝送容量を制限したインターネット接続のときや、動きの少ない監視映像など、更新を速くする必要がないときは、フレームレートを特定の値に制限します。「30」、「15」、「10」、「5」、「3」、「1」の中から設定値を選びます。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.2.4 OSD

OSD（オンスクリーンディスプレイ）の詳細設定を行います。

オンスクリーンディスプレイ

オンスクリーンディスプレイ： 有効 無効

カメラ名の表示： 有効 無効

日付の表示： 有効 無効

時刻の表示： 有効 無効

適用

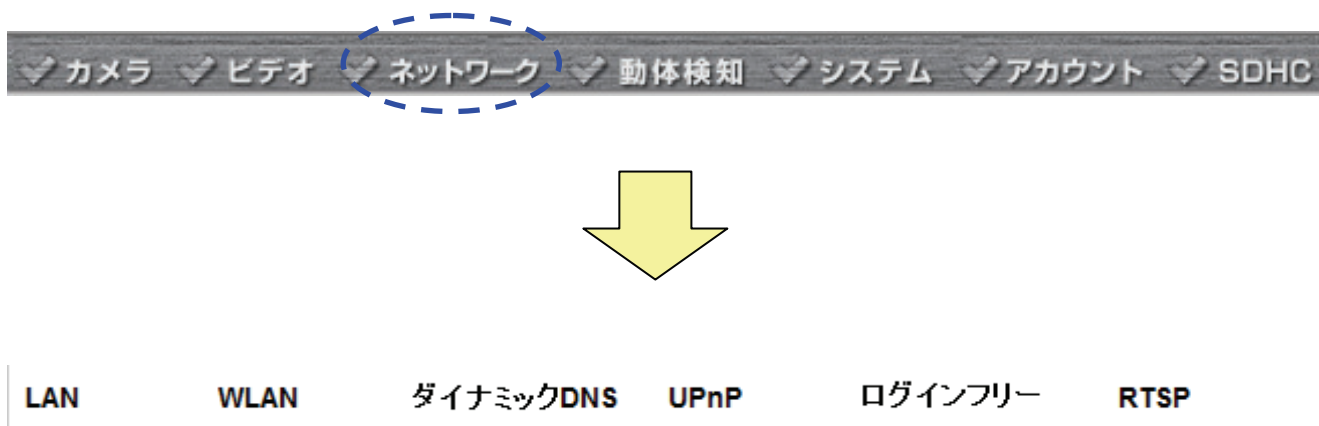
設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
オンスクリーンディスプレイ	「有効」を選ぶと、カメラで撮影した映像に「カメラ名」、「日付」、「時刻」を表示することができます。「無効」を選ぶと、非表示になります。
カメラ名の表示	「オンスクリーンディスプレイ」が「有効」のとき、カメラで撮影した映像に「カメラ名」を表示することができます。
日付の表示	「オンスクリーンディスプレイ」が「有効」のとき、カメラで撮影した映像に「日付」を表示することができます。
時刻の表示	「オンスクリーンディスプレイ」が「有効」のとき、カメラで撮影した映像に「時刻」を表示することができます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.3　ネットワーク設定

「ネットワーク」メニューで、ネットワーク関連のすべての項目を設定することができます。IP アドレスの変更、無線 LAN 設定、PPPoE、ダイナミック DNS の使用、UPnP 機能の起動を行うときは、「LAN」メニューで設定内容を変更してください。

WEB 設定画面のトップメニューから、「ネットワーク」をクリックすると、6 つのサブメニューが表示されます。

各設定については、次項の説明を参照してください。

2.3.1 LAN

ここでは、IP アドレスの設定や希望のポート番号を設定することができます。
また、PPPoE 機能の設定ができます。

LAN

- ネットワークの種類：　○ DHCP　◉ 固定IPアドレス
- IPアドレス：　192.168.1.200
- サブネットマスク：　255.255.255.0
- ゲートウェイ：　192.168.1.1
- プライマリDNS：　192.168.1.1
- セカンダリDNS：
- HTTPポート：　80

PPPoE

- PPPoE機能：　○ 有効　◉ 無効
- ユーザ名：
- パスワード：
- MTU：　1392　(512<=MTU値<=1492)

適用

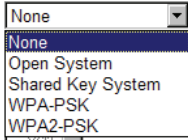
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ネットワークの種類	本製品は DHCP サーバから IP アドレスを自動取得、または固定 IP アドレスを割り当てることができます。 IP アドレスを自動的に取得するときは「DHCP」を選びます。 本製品に固定 IP アドレスを割り当てるときは、「固定 IP アドレス」を選びます。 ※「DHCP」を選ぶと、IP アドレスの入力はできません。
IP アドレス	本製品の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	ローカルネットワークのゲートウェイアドレスを設定します。
プライマリ DNS	ローカルネットワークの DNS サーバアドレスを設定します。通常はゲートウェイと同じ IP アドレスを入力します。DNS サーバの IP アドレスが分からないときは、ネットワーク管理者やインターネット接続業者にお問合せください。

セカンダリ DNS	バックアップ用の DNS サーバの IP アドレスを設定します。プライマリ DNS サーバが到達できないときは、ここで設定された IP アドレスが DNS サーバとして本製品に使用されます。 この欄は任意で入力します。
HTTP ポート	ウェブ管理画面のポート番号を設定します。設定が「80」でないときは、本製品の IP アドレス/ホストネームの後にポート番号を追加する必要があります。 例：ここで設定した HTTP ポート番号が「90」で、本製品の IP アドレスが「10.20.20.30」のときは、ブラウザ画面のアドレスバーに「http://10.20.20.30:90」と入力します。 **ご注意：** 他の機器で「80」をお使いのときは、他の数値を入力する必要があります。
PPPoE 機能	本製品の PPPoE 機能をご利用のときには「有効」を選びます。ご利用にならないときは「無効」を選びます。
ユーザ名	ご契約のインターネット接続業者から指定された PPPoE ユーザ名を入力します。
パスワード	ご契約のインターネット接続業者から指定された PPPoE パスワードを入力します。
MTU	ご契約のインターネット接続業者から割り当てられた MTU（Maximum Transmission Unit：最大転送単位）を入力します。どの値を入力すればよいか分からないときは、ご契約のインターネット接続業者にお問合せください。ほとんどのインターネット接続業者では初期設定で動作し、ネットワークの性能には問題ありません。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.3.2 WLAN

無線 LAN を手動設定するときにこの画面で設定します。本製品には、受信可能な無線 LAN アクセスポイント一覧を表示するサイトサーベイ機能がありますので、接続したい無線 LAN アクセスポイントを選ぶ事で、自動的に入力される項目があります。

設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
ワイヤレス接続	無線 LAN 接続を行うときには「有効」を選びます。
ネットワークの種類	無線 LAN ネットワークの種類を「インフラストラクチャ」または「アドホック」から選びます。
利用可能なネットワーク	本製品が認識している無線 LAN アクセスポイントの一覧を表示します。 [一覧更新]をクリックすると、最新の状態を表示します。 接続したい無線 LAN アクセスポイント名称の「接続」にチェックを入れると、画面下の「SSID」「チャンネル」「認証方式」「暗号化タイプ」の項目が自動入力されます。
SSID	接続したい無線 LAN アクセスポイントと同じ SSID を入力します。 ※利用可能なネットワークにて「接続」にチェックしたときは、自動で入力されます。

チャンネル	接続したい無線 LAN アクセスポイントと同じチャンネルを選びます。チャンネルは「1～13」まで選ぶことができます。 ※利用可能なネットワークにて「接続」にチェックしたときは、自動で選ばれます。
認証方式	接続したい無線 LAN アクセスポイントと同じ認証方式を「なし」「オープンシステム」「共有システム」「WPA-PSK」「WPA2-PSK」から選びます。 認証方式： None 暗号化タイプ： プレシェアードキー： WEPキーの長さ： None / Open System / Shared Key System / WPA-PSK / WPA2-PSK ※利用可能なネットワークにて「接続」にチェックしたときは、自動選択されますが、接続したい無線 LAN アクセスポイントの認証方式がオープンのときは、「オープンシステム」を選んでください。
暗号化タイプ	接続したい無線 LAN アクセスポイントと同じ暗号化タイプを選びます。 認証方式が「オープンシステム」または「共有システム」のときは、「WEP」を選びます。 認証方式が「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」のときは、「TKIP」または「AES」から選びます。 「オープンシステム」または「共有システム」のとき： 暗号化タイプ： WEP プレシェアードキー： None / WEP 「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」のとき 暗号化タイプ： TKIP プレシェアードキー： TKIP / AES ※利用可能なネットワークにて「接続」にチェックしたときは、自動で選ばれます。
プレシェアードキー	暗号化タイプが「TKIP」または「AES」のとき、接続したい無線 LAN アクセスポイントと同じ暗号化キーを入力します。 ※暗号化タイプが「なし」または「WEP」のときは入力できません。
WEP キーの長さ	暗号化タイプが「WEP」のとき、接続したい無線 LAN アクセスポイントと同じ暗号化キーの長さを「64-bit」または「128-bit」から選びます。 ※暗号化タイプが「TKIP」または「AES」のときは選べません。
WEP キーのフォーマット	暗号化タイプが「WEP」のとき、接続したい無線 LAN アクセスポイントと同じ暗号化キーの形式を「16 進数」または「ASCII」から選びます。 ※暗号化タイプが「TKIP」または「AES」のときは選べません。
インデックス	暗号化タイプが「WEP」のとき、接続したい無線 LAN アクセスポイントと同じ暗号化キーの番号を「1～4」より選びます。 ※暗号化タイプが「TKIP」または「AES」のときは選べません。

WEP キー　1～4	暗号化タイプが「WEP」のとき、接続したい無線 LAN アクセスポイントと同じ暗号化キーを「デフォルトキー」で選んだ番号と同じ番号の欄に入力します。 例：デフォルトキーが 3 のとき → WEP キー3 に入力 ※暗号化タイプが「TKIP」または「AES」のときは入力できません。
PIN コード	WPS 対応の無線アクセスポイントと接続するときに使用する PIN コードを表示します。PIN コード方式で WPS 接続をするためには、この数値を WPS 対応のアクセスポイントに入力する必要があります。
PBC 方式	[PBC 開始]をクリックすると、本製品が 120 秒間 PBC 方式の WPS 接続状態になります。120 秒以内に、接続したい無線アクセスポイントの WPS ボタンを押して、WPS 接続を行ってください（ボタン上に残り時間が表示されます）。120 秒経過しても接続が成功しないときは、メッセージボックスが表示されますので、[PBC 開始]をクリックしてもう一度接続を行ってください。
PIN 方式	無線アクセスポイントと PIN コード方式で WPS 接続するときは、その数値を「登録先の SSID」欄内に入力し、[PIN 開始]を押して接続を行ってください。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.3.3 ダイナミック DNS

本製品は、「CyberGate – DDNS –」、「DynDNS」のダイナミック DNS サービスに対応しています。ご契約のインターネット接続業者より、固定インターネット IP アドレスを割り当てられていないときは、本製品を設置しているご自宅や職場などから離れた場所で、本製品の映像を確認することができます。
（ご契約の内容がわからないときは、ご契約のインターネット接続業者に詳細をお問合せください。）

※あらかじめ「CyberGate – DDNS –」(http://cybergate.planex.co.jp/)または、「DynDNS」(http://www.dyndns.org)の登録を済ませておいてください。登録方法は各 URL を参照してください。

ダイナミックDNS
DDNS機能： 有効 無効
プロバイダ： CyberGate DDNS
ホスト名： luna.ddns.vc
ユーザ名： ddns-account
パスワード： ●●●●●●●●●●●●●●
適用

各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
DDNS 機能	ダイナミック DNS 機能を使うときには「有効」を選びます。無効にするときは「無効」を選びます。
プロバイダ	登録したダイナミック DNS サービスを「CyberGate DDNS」または「dyndns.org」から選びます。
ホスト名	取得したサブドメイン名を入力し、ドメイン名を選びます。
ユーザ名	登録したユーザ名（またはユーザ ID）を入力します。
パスワード	登録したパスワードを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.3.4 UPnP

UPnP 機能を起動していると、すべての UPnP 対応パソコン/ネットワーク機器は本製品を自動的に検出できます（同一のローカルネットワーク上にあるときのみ）。

本製品の IP アドレスを覚えておく必要がなく便利な機能です。「マイネットワーク」を開くだけで検出できます。

UPnP

UPnP機能： 有効 無効

適用

設定項目の内容は以下の通りです。

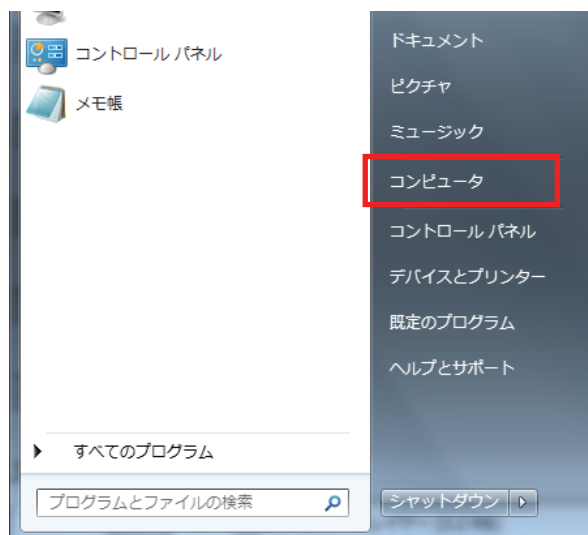
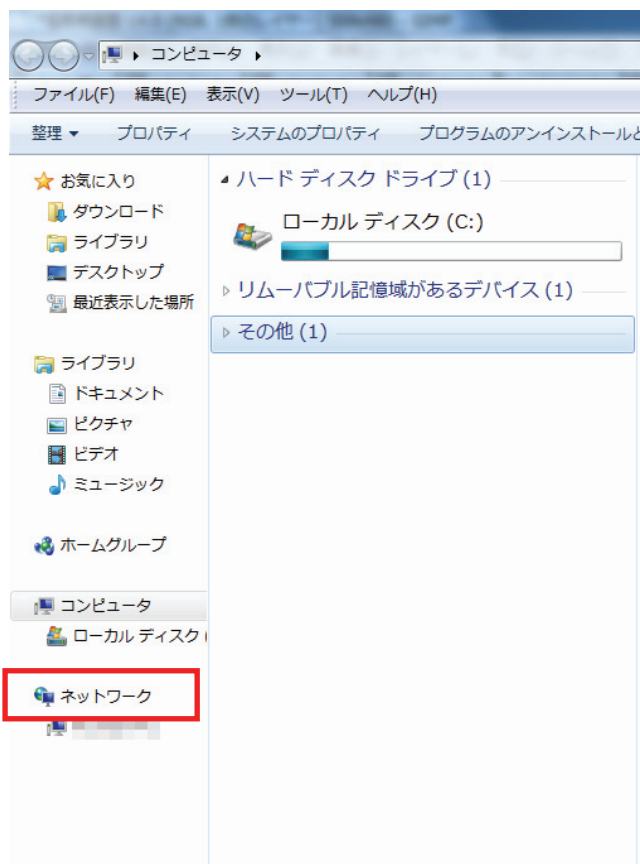
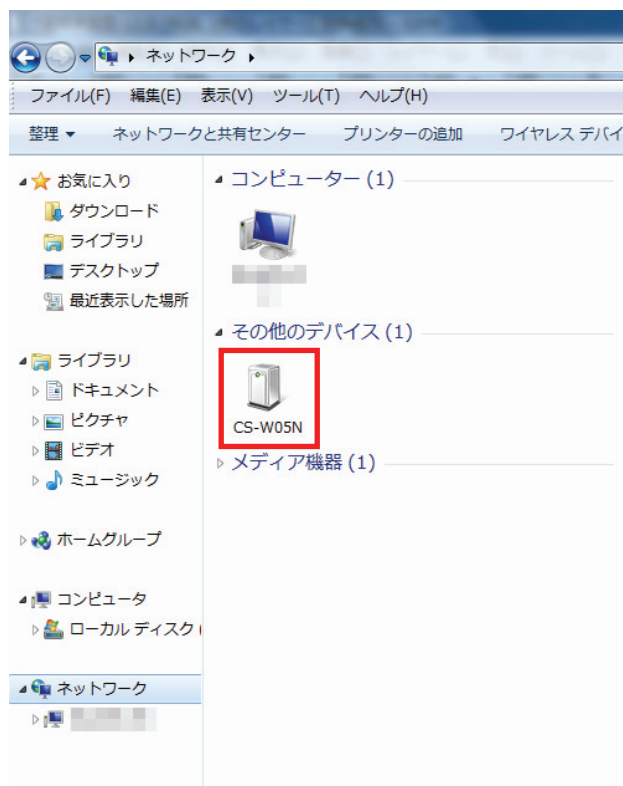
項目名	動作
UPnP 有効にする	本製品の UPnP 機能を使うときには「有効」を選びます。無効にするには「無効」を選びます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

UPnP 機能を起動後、次項の手順を行ってください。

※　設定方法は OS によって異なります。以下の手順を参考にして設定を行ってください。

■Windows 7 のとき

1.　「スタート」－「コンピュータ」の順にクリックします。

2.　左側メニューより「ネットワーク」をクリックします。

3. 「その他のデバイス」から、下記「CS-W05NM」のアイコンをクリックすることで、カメラの WEB 設定画面に直接ログインすることができます。

2.3.5 ログインフリー

本製品では、権限のないユーザが、本製品で撮影した画像※を見ることができる方法(「ログインフリー」)があります。本製品で撮影した画像をすべての人が見られるようにしたいときや、ご自分の WEB アプリケーションで画像を公開したいときに「ログインフリー」機能を使います。
※静止画のみになります。

ログインフリー

フリーログインを有効にする： 有効 無効

ファイル名： .jpg

適用

設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
フリーログインを有効にする	「フリーログイン」機能を使うときには「有効」を選びます。無効にするときは「無効」を選びます。
ファイル名	ファイル名を入力します。WEB ブラウザのアドレス欄にて、カメラのIPアドレスの後に、ここで設定した入力したファイル名と「.jpg」の拡張子を入力すると、他のユーザも画像を見ることができます。 例：ご使用のカメラの IP アドレスが「192.168.1.200」で、設定したファイル名が「picture」のとき、以下のアドレスを入力することで、誰でも本製品で撮影した画像を WEB 上で見ることができます。 http://192.168.1.200/picture.jpg ブラウザの更新をすると、画像が更新されます。 **撮影した画像を見るためにいかなる認証も必要ないのでご注意ください。**

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.3.6 RTSP

ここでは、RTSP(リアルタイム・ストリーミング・プロトコル)の設定を変更することができます。

ストリーミング

RTSPポート： 554

MPEG4 RTSPパス： ipcam .sdp

H264 RTSPパス： ipcam_h264 .sdp

RTPポート範囲： 50000 - 60000

適用

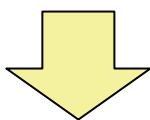
各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
RTSP ポート	RTSP のポート番号を設定します。 初期値は「554」になっています。
MPEG4 RTSP パス	ビデオ設定が MPEG4 の時の RTSP パスを設定します。 初期値は「ipcam」になっています。
H264 RTSP パス	ビデオ設定が H264 の時の RTSP パスを設定します。 初期値は「ipcam_h264」になっています。
RTSP ポート範囲	RTSP のポート番号を設定します。 初期値は「50000」～「60000」になっています。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.4 動体検知設定

本製品を使って、物体の動きを監視したいときは、「動体検知」機能を活用することができます。カメラが物体の動きを検出すると、その瞬間の映像をスナップショットとして撮影します。本製品を使うと、離れた場所にある所持品の安全性を守ることもできます。

WEB 設定画面のトップメニューから、「動体検知」をクリックすると、5 つのサブメニューが表示されます。

2.4.1 動体検知

「動体検知」画面で「動体検知」の基本設定を行います。

動体検知

動体検知機能：	○有効 ◉無効
動体検知間隔：	5 秒
録画時間：	3
送信ファイルタイプ：	JPEG
FTPに転送する：	○有効 ◉無効
Eメールに転送する：	○有効 ◉無効
SDカードに転送する：	○有効 ◉無効

Samba

フォルダに録画する：	○有効 ◉無効
認証：	匿名
ユーザ名：	
パスワード：	
Sambaサーバ：	
共有フォルダ：	share
録画ファイルのサイズ：	10 MB(最大20MB)
	適用 Samba Test

各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
動体検知機能	「動体検知」を有効にするには、「有効」をクリックします。無効にするには「無効」をクリックします。
動体検知間隔	動作を検知してから次の動作を検知するまでの間の時間間隔を「0 秒」から「60 秒」で設定します。 動体検知間隔： 5 秒 録画時間： 送信ファイルタイプ： FTPに転送する： Eメールに転送する： SDカードに転送する： 0 1 3 5 10 15 20 30 45 60 一度動作が検出されると、以降カメラはここで設定した時間になるまでに起こった動作を検出することができません。0 秒で設定したときは、常に新しい動作を検出します。
録画時間	プルダウンメニューから、動作を検出してから撮影を続ける時間を選びます。 録画時間： 1 送信ファイルタイプ： FTPに転送する： Eメールに転送する： 1 2 3 4 5 「1」から「5」の中から設定値を選べます。
送信ファイルタイプ	動作を検出したときに撮影した映像を保存するときのファイル形式を選びます。 送信ファイルタイプ： JPEG FTPに転送する： Eメールに転送する： JPEG AVI (MPEG4) AVI (H264) 静止画を保存するときは、「JPEG」を選んでください。画像が JPEG 形式で保存されます。動画を保存するときは、「AVI（MPEG4）」または「AVI（H264）」を選んでください。映像が AVI 形式で保存されます。
FTP に転送する	動作が検出されたときに、保存した映像を指定された FTP サーバに転送するときは、「有効」を選びます。FTP サーバに転送しないときは、「無効」を選びます。この機能を有効にするには、先に、「FTP 設定」で、FTP の設定をする必要があります。 （詳細については「2.4.4 FTP 設定」をご覧ください）
E メールに転送する	動作が検出されたときに、保存した映像を指定された E メールアドレスに転送するときは、「有効」を選びます。E メールアドレスに転送しないときは、「無効」を選びます。この機能を有効にするには、先に、「E メール設定」で、メールサーバの設定をする必要があります（詳細については「2.4.3 E メール」をご覧ください）。

SD カードに転送する	動作が検出されたときに、保存した映像を SD カードに転送するときは、「有効」を選びます。SD カードに転送しないときは、「無効」を選びます。この機能を有効にするには、先に、利用可能な SD カードを本製品の SD スロットに挿入する必要があります。
フォルダに録画する	動作が検出されたときに、保存した映像を NAS やメディアサーバなどの Samba サーバに録画するときは、「有効」を選びます。Samba サーバに録画しないときは、「無効」を選びます。
認証	Smba サーバへ接続するときの認証方法を選びます。 認証 : 匿名 ユーザ名 : 匿名 アカウント サーバの認証が不要のときは、「匿名」を選びます。認証が必要なときは「アカウント」を選びます。 アカウント内容が不明な場合は、Samba サーバの取扱説明書を参照してください。または、ネットワーク管理者にお問合せください。
ユーザ名	サーバ接続時に認証が必要なときは、Samba サーバのユーザ名を入力します。
パスワード	サーバ接続時に認証が必要なときは、Samba サーバのパスワードを入力します。
Samba サーバ	IP アドレスまたは Samba サーバのホスト名を入力します。不明な場合は、メールソフトでお使いの SMTP サーバを参照してください(Outlook、Outlook Express 等)。または、ネットワーク管理者やインターネット接続業者にお問合せください。
共有フォルダ	Samba サーバの共有サーバ(保存先フォルダ)を指定します。
録画ファイルのサイズ	保存する映像のサイズを指定します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

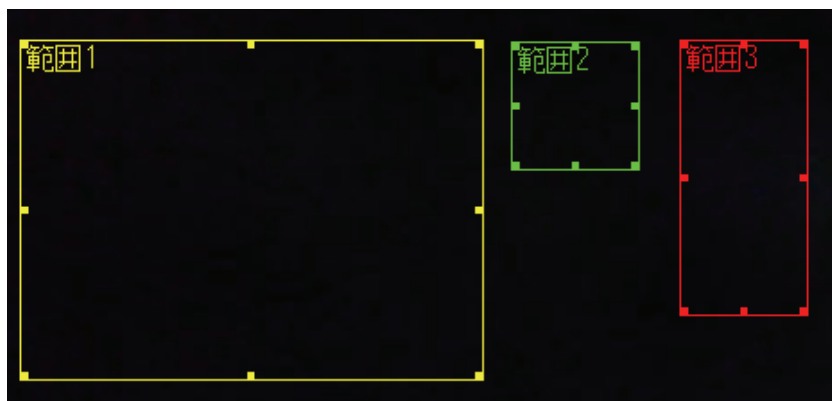
Samba サーバへの「フォルダに録画」を有効にし、設定した内容が問題なく動作しているかを確認するときは、「Samba Test」をクリックしてください。

2.4.2　検知領域

撮影される映像内で、動作を検出する範囲を設定することができます。この機能は、映像内の設定された範囲外での動作は検出されず、必要のない映像が保存されるのを軽減させることができます。

各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
範囲 1-3	「範囲 1」から「範囲 3」のチェックをオンにする事で動体検知する箇所を設定できます。複数のチェックをオンにして、複数の動体検知の範囲を有効にすることができます。チェックをオンにすると、有効にした範囲番号と範囲枠が、撮影した映像上に表示されますので、範囲の拡大縮小や、移動を行って動体検知する箇所を設定します。
感度	スライドバーを動かして、各動体検知の範囲内の感度を設定します。スライドを右に動かすと、感度が上がります（カメラは映像内の細かい動きも検出します）。スライドを左に動かすと、感度が下がります（カメラは映像内の大まかな動きのみ検出します）。10 段階で設定できます。
再読み込み	カメラ画像の再読み込みを行います。設置場所や動体検知する箇所が変更になったときなど、改めて範囲を設定するときは「再読み込み」をクリックします。
保存する	[保存する]をクリックすると、動体検知範囲の設定を保存します。

動体検知の範囲を変更するには、範囲サイズを再設定して、再配置します。

設定した動体検知範囲の境界線上にある 8 つの点のいずれかの上にマウスを置くと、カーソルの形は ↔ 、↕ 、⤢ などに変化します。カーソルをドラッグして、カーソルを、再設定したい範囲になるまで動かします。

動体検知範囲を新しい場所に移動させたいときは、カーソルを希望の範囲内に動かしてください。カーソルの形が ✥ に変化します。カーソルをドラッグして、カーソルを、再設定したい場所になるまで動かします。

2.4.3 E メール

メール送信やメールサーバのアドレスの設定をします。

Eメール

送信先Eメールアドレス：

Eメール件名： Motion Detection Notification

SMTPサーバ：

SMTPポート： 25

SSL v2/v3： 有効 無効

送信元Eメールアドレス：

SMTP認証： 有効 無効

ユーザ名：

パスワード：

適用 テストEメールを送信

各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
送信先メールアドレス	メールを受信するメールアドレスを入力します。アドレスの間に“;（セミコロン）”を入力して、複数の相手を指定することができます。
E メール件名	送信メールの件名を設定します。第三者によって本製品から送られたメールであることを特定することができます。カメラからのメールであることを特徴付ける件名をお勧めします。（件名は半角英数で入力してください。）
SMTP サーバ	IP アドレスまたは SMTP サーバのホスト名を入力します（お客様にメールを送信するサーバ）。わからないときは、メールソフトでお使いの SMTP サーバを参照してください（Outlook、Outlook Express 等）。または、ネットワーク管理者やインターネット接続業者にお問合せください。
SMTP ポート	SMTP サーバが使用するポート番号を入力します。
SSL v2/v3	メール送信時に SSL 接続が必要なときは、「有効」にチェックを入れます。
送信元 E メールアドレス	カメラが利用するメールアドレスです。上記の SMTP サーバに対応したメールアドレスを設定します。 **ご注意**：不明の送信者から送られたメールを受信拒否するメールサーバもあります。ここにお客様ご自身や、他の実在するメールアドレスを入力することをお勧めします。
SMTP 認証	メール送信時に SMTP 認証が必要なときは、「有効」にチェックを入れます。
ユーザ名	メール送信時に認証が必要なときは、SMTP サーバのユーザ名を入力します。
パスワード	メール送信時に認証が必要なときは、SMTP サーバのパスワードを入力します。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

その後、「テストＥメールを送信」をクリックすると、設定したアドレスにメールを送信できます。設定した内容が問題なく動作しているかを確認することができます。

2.4.4 FTP 設定

FTP サーバの設定をします。

FTP設定

FTPサーバ：

FTPポート：21

ユーザ名：

パスワード：

リモートフォルダ：

パッシブモード：有効 無効

適用 テストファイルをアップロード

各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
FTP サーバ	ご使用になる FTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
FTP ポート	FTP サーバのポート番号を入力します。
ユーザ名	FTP サーバに接続するときのユーザ名を入力します。
パスワード	FTP サーバ接続するときのパスワードを入力します。
リモートフォルダ	FTP サーバ上のリモートフォルダ名（階層）を入力します。ここで何も設定しなければ、アップロードされたすべての映像ファイルは、FTP サーバのルートディレクトリに保存されます。どのフォルダにアップロードしたら良いかについては、FTP サーバの管理者にお問合せください。特定のユーザ名には制限事項が設けてあり、ユーザが所有するディレクトリでなければ、ファイルをディレクトリに保存できません。
パッシブモード	ファイル送信に「パッシブモード（PASV モード）」を使うには、「有効」を選びます。ファイル送信に「パッシブモード（PASV モード）」を使わないときは、「無効」を選びます。「パッシブモード（PASV モード）」が要求される FTP もあります。わからないときは、FTP サーバの管理者にお問合せください。ほとんどの FTP サーバが両方のモードで問題なく動作しますが、もし「パッシブモード（PASV モード）」が無効の状態で動作していないときは、「パッシブモード（PASV モード）」でお試しください。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

その後、「テストファイルの送信」をクリックすると、設定した FTP サーバにファイルを送信できます。設定した内容が問題なく動作しているかを確認することができます。

2.4.5 SD カード設定

ファイルを SD/SDHC カードに保存するときは、ファイル名と移動先フォルダを決めることができます。
※SD/SDHC カードには、動体検知機能で撮影された画像(静止画、動画)のみ保存できます。

SDカード設定

☑ 上書き録画機能

ファイル名のプレフィックス： Motion

保存先フォルダ： record

テストファイルをアップロード

各設定項目の内容は以下の通りです。

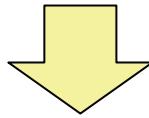
項目名	動作
上書き録画機能	SD/SDHC カードのファイル容量がいっぱいになったとき、[有効]を選ぶと、古いファイルから上書きします。[無効]を選ぶと、いっぱいになった時点で、録画をやめます。
ファイル名のプレフィックス	ファイル名の頭に付く文字列を入力します(この文字列がファイル順序番号の前に付きます)。
保存先フォルダ	カメラが撮影した画像や映像を保存するフォルダ名を入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

その後、「テストファイルをアップロード」をクリックすると、設定した SD カードにファイルを送信できます。設定した内容が問題なく動作しているかを確認することができます。

2.5 システム設定

本製品の情報を見るには、「システム設定」メニューを選びます。

WEB 設定画面のトップメニューから、「システム」をクリックすると、4 つのサブメニューが表示されます。

各設定項目の詳細については、次項をご覧ください。

2.5.1 カメラ情報

「カメラ情報」画面で、本製品のカメラ名と管理者のパスワードを設定できます。

カメラ情報

カメラ名： CS-W05NM

パスワード： ●●●●●●●●●

パスワードの確認： ●●●●●●●●●

適用

各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
カメラ名	本製品のカメラ名を設定します。同一のネットワーク上に複数のカメラが存在するときは、ここで入力したカメラ名で識別します。初期設定は「CS-W05NM」です。 **ご注意**：ご自由にカメラ名を変更することができますが、同一のネットワーク上のすべてのネットワークカメラに同じカメラ名を設定しないようご注意ください。
パスワード	本製品のパスワードを入力します。（ウェブ管理画面にログインするときに必要なパスワードです。）
パスワード確認	入力ミスを防ぐため、「パスワード」で入力した同じパスワードをもう一度入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.5.2 日付/時刻の設定

ここでは、本製品に設定された日付や時刻を変更することができます。手動での設定や、ネットワークタイムプロトコル(NTP)を使った自動的な時刻設定が可能です。

日付/時刻の設定

手動による設定 / / : :

NTPサーバによる設定

タイムゾーン： (GMT+09:00) Japan, Korea

NTPサーバによる設定： pool.ntp.org

夏時間を有効にする： はい いいえ

適用 PCの時刻と同期する

各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
手動による設定／ NTP サーバによる設定	「**手動設定する**」を選ぶと、本製品の日付や時刻を手動で設定することができます。 ご希望の日付や時刻を入力してください。 日付/時刻の形式は、「YYYY ／ MM ／ DD　HH:MM:SS」です。時刻は 24 時間形式です。 例：「2010 年 9 月 10 日 PM 9:8:30」のときは、「2010/ 9 ／ 1　21:8:30」と入力します。 [PC 時刻の同期]をクリックすると、お使いのパソコンに設定されている時刻に同期します。 「**NTP サーバ**」を選ぶと、カメラは NTP サーバから自動的に日付と時刻を取得します。 **ご注意**：NTP サーバを使用するには、カメラがインターネットに接続されている必要があります。LAN の設定で固定 IP アドレスにて本製品をご利用のときは、ご利用の環境に合わせて、ゲートウェイや DNS を設定してください。詳細については、「2.3.1 LAN」を参照してください。
タイムゾーン	プルダウンメニューから、ご使用の地域のタイムゾーンを選んでください。初期設定は「（GMT＋09：00）Japan, Korea」です。
NTP サーバによる設定	NTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。初期設定は「pool.ntp.org」です。 ご契約のインターネット接続業者に NTP サーバがあるときは、IP アドレスまたはホスト名については、ご契約のインターネット接続業者にお問合せください。
夏時間を有効にする	「有効」を選ぶと、タイムサーバより取得した時間を各国のサマータイムにあわせて変換し表示します。「無効」を選ぶと、サマータイムは適用されません。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

2.5.3 ユーティリティ

ここでは、ファームウェアのアップグレード・本製品の設定内容の初期化・再起動・LED のオン/オフ切り替えを行います。

ユーティリティ

- ファームウェアの更新： [参照...] [更新]
- 初期設定値に戻す： [初期化]
- 本体の再起動： [再起動]
- LEDの設定： [消灯する]

設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
ファームウェアの更新	弊社ウェブサイトより最新のファームウェアをダウンロードしたときは、[参照]をクリックしてアップロードするファームウェアを選び、本製品のファームウェアファイルのアップロードを行います。 アップデートが完了すると、本製品が再起動します。
初期設定値に戻す	本製品のすべての設定を工場出荷時状態に戻します。すべての設定を消して良いか確認をしてから、[初期化]をクリックしてください。 **ご注意**：IP アドレスも初期設定値「192.168.1.200」にリセットされます。
本体の再起動	カメラの動作が遅いときや動作が異常なときは、[再起動]ボタンをクリックしてカメラをリセットするときに使用します。
LED 設定	本製品のランプをオフにすることができます。オフにするときは、[消灯する]をクリックします。本製品のすべてのランプが消灯し、他者にカメラがデータを送信していることを防ぐときなどに役立ちます。 ランプを再び点灯させるには、[点灯する]（同じボタン）をクリックします。

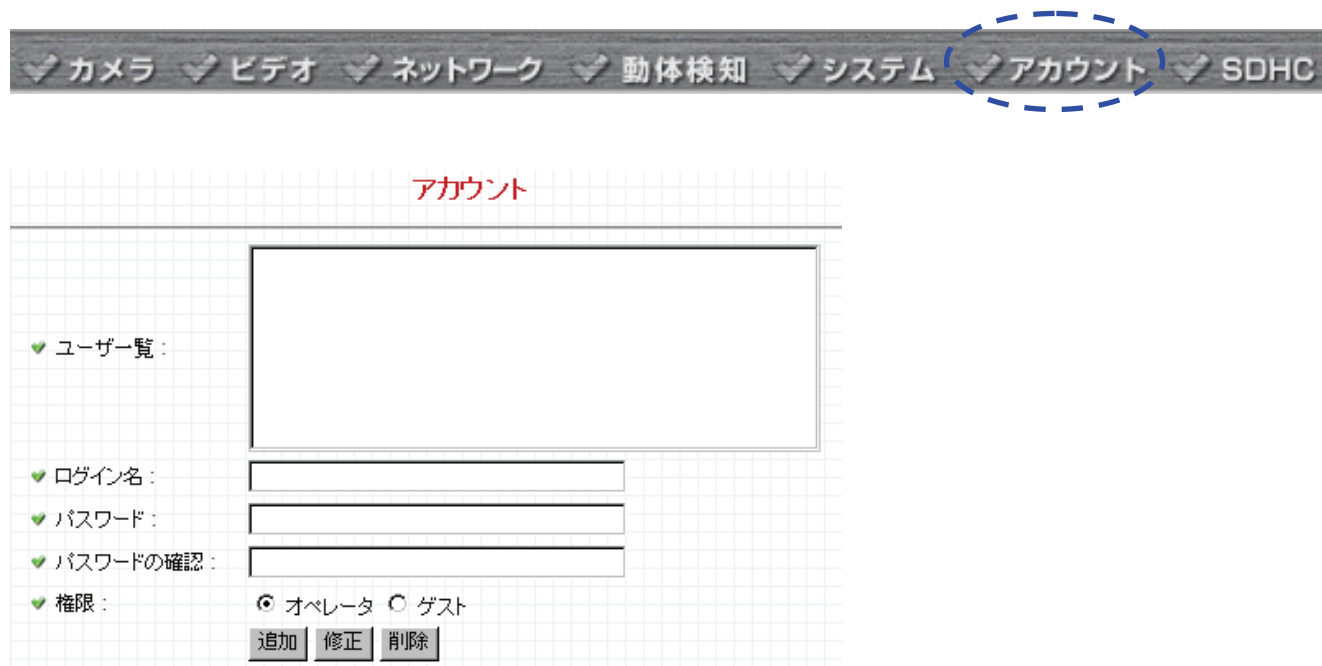
2.5.4 ステータス

ここでは、ファームウェアバージョン、日付/時刻、稼働時間、およびネットワーク情報など、本製品に関する情報を見ることができます。

システム

- ファームウェアバージョン：
- 稼働時間： 22 秒
- システム時刻： 2010/01/01 08:00:08

LAN

- IPアドレス： 192.168.1.200
- サブネットマスク： 255.255.255.0
- ゲートウェイ： 192.168.1.1
- DNSサーバ： 192.168.1.1
- MACアドレス：
- HTTPポート： 80

PPPoE

- 接続状況： 切断
- IPアドレス：
- サブネットマスク：
- ゲートウェイ：
- DNSサーバ:

2.6 アカウント設定

すべての機能を使用することができる「管理者」以外に、機能を制限したユーザアカウントを作成することができます。登録したユーザごとに、カメラ画像確認、ビデオ設定などの機能制限を設定することができます。
WEB 設定画面のトップメニューから、「アカウント」をクリックします。

カメラ ビデオ ネットワーク 動体検知 システム アカウント SDHC

アカウント

ユーザ一覧：
ログイン名：
パスワード：
パスワードの確認：
権限： オペレータ ゲスト
追加 修正 削除

設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
ログイン名	追加するアカウントのログイン名（ユーザ名）を入力します。
パスワード	追加するユーザのパスワードを入力します。
パスワードの確認	確認のためもう一度追加するユーザのパスワードを入力します。
権限	アカウントの権限を設定します。 **オペレーター**： カメラ画面の閲覧と、カメラ画面内の「周波数」、「フリップモード」、「明度／彩度／シャープネス」、「音量」の設定が行えます。 **ゲスト**： カメラ画面の閲覧のみ行えます。
追加	アカウントを追加します。
修正	アカウントの修正をします。
削除	アカウントの削除をします。

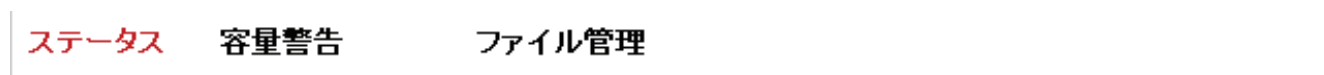
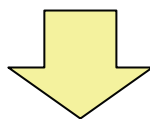
ユーザが追加されると、「ユーザー一覧」に表示されます。同時に複数人が同じアカウントで、カメラで撮影された映像を見る事ができます。最大 16 アカウントまで作成できます。

2.7 SD カード

ここでは、SD/SDHC メモリカード関連の設定を行うことができます。

WEB 設定画面のトップメニューから、「システム」をクリックすると、3 つのサブメニューが表示されます。

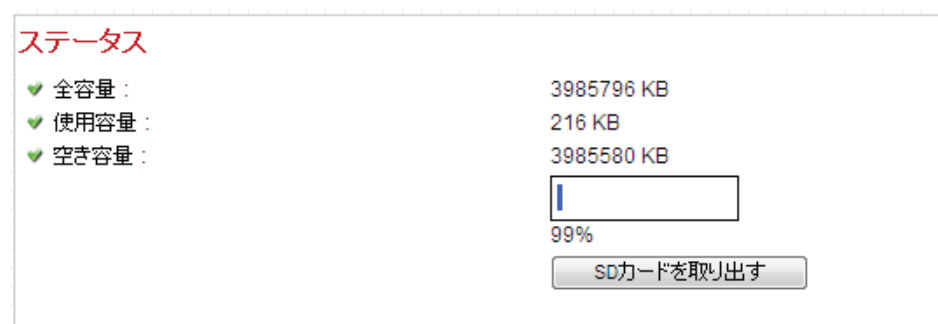
カメラ　ビデオ　ネットワーク　動体検知　システム　アカウント　SDHC

ステータス　容量警告　ファイル管理

各設定項目の詳細については、以下をご覧ください。

2.7.1 ステータス

ここでは、SD/SDHC カードの空き容量を見ることができます。

ステータス

全容量 :	3985796 KB
使用容量 :	216 KB
空き容量 :	3985580 KB
	99%
	SDカードを取り出す

2.7.2 容量警告

SD/SDHC カードの容量が残り少ないときは、本製品からメールを送るようにすることができます。

容量警告

- 送信先Eメールアドレス：
- Eメールの件名： [SD Card Space Alarm]
- SMTPサーバ：
- SMTPポート： 25
- SSL v2/v3： 有効 無効
- 送信元Eメールアドレス：
- SMTP認証： 有効 無効
- ユーザ名：
- パスワード：
- 予約容量： 30 MB

適用 テストEメールの送信 Eメール設定をコピーする

「動体検知」でメール設定をしたときは、[E メール設定をコピーする]をクリックして、同じ設定をコピーすることができます。

各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	動作
送信先メールアドレス	「容量警告」を受信するメールアドレスを入力します。アドレスの間に“;（セミコロン）”を入力して、複数の相手を指定することができます。
E メールの件名	「容量警告」メールの件名を設定します。第三者によって本製品から送られたメールであることを特定することができます。カメラからのメールであることを特徴付ける件名をお勧めします。（件名は半角英数で入力してください。）
SMTP サーバ	IP アドレスまたは SMTP サーバのホスト名を入力します（お客様にメールを送信するサーバ）。わからないときは、メールソフトでお使いの SMTP サーバを参照してください（Outlook、Outlook Express 等）。または、ネットワーク管理者やインターネット接続業者にお問合せください。
SMTP ポート	SMTP サーバが使用するポート番号を入力します。
SSL v2/v3	メール送信時に SSL 接続が必要なときは、「有効」にチェックを入れます。
送信元 E メールアドレス	「容量警告」メールの送信者のメールアドレスを入力します。
SMTP 認証	メール送信時に SMTP 認証が必要なときは、「有効」にチェックを入れます。
ユーザ名	メール送信時に認証が必要なときは、SMTP サーバのユーザ名を入力します。
パスワード	メール送信時に認証が必要なときは、SMTP サーバのパスワードを入力します。
予約容量	プルダウンメニューから、予備として使用せず残しておく SD/SDHC カードの容量を選びます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

[テスト E メールの送信]をクリックして、ここで設定した設定によってテストメールを送信することができます。

2.7.3 ファイル管理

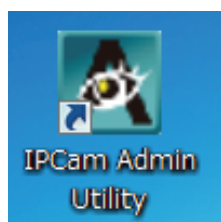
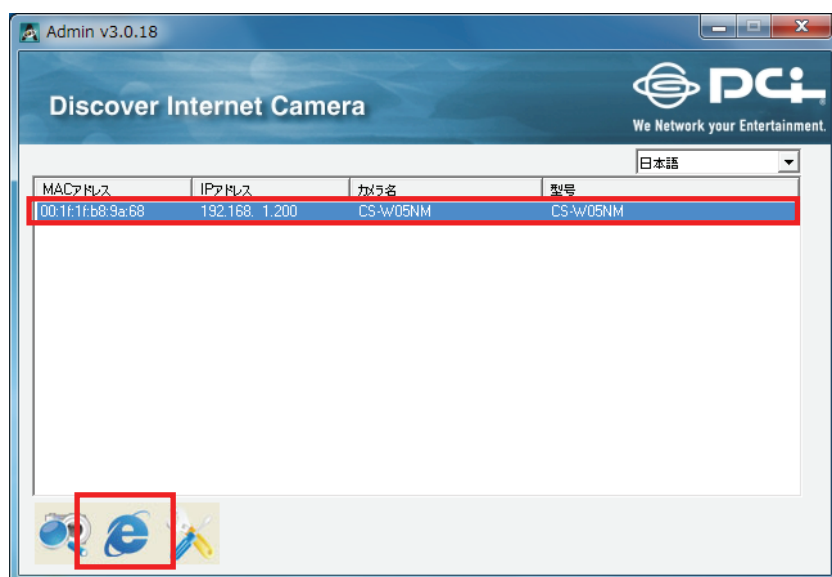
ここでは SD/SDHC カードに保存されたファイルを閲覧したり、消去したりすることができます。

第 3 章:外部からカメラにアクセスする

本製品の映像をインターネット経由で、外出先などからリアルタイムで表示することができます。
ここではダイナミック DNS サービス※を利用して、本製品の映像を見る方法について説明します。なお、ブローバンドルータの設定方法は製品により異なります。外出先などからのアクセスを LAN のパソコンやネットワーク機器へ転送する機能(「ローカルサーバ機能」、「ポートフォワーディング機能」、「静的マスカレード機能」等と呼ばれます)などの設定方法については、お使いのルータの取扱説明書を参照 してください。
※設定の前にダイナミック DNS サービスに登録する必要があります。あらかじめ「CyberGate - DDNS -」(http://cybergate.planex.co.jp/)または、「DynDNS」(http://www.dyndns.org)の登録を済ませておいてください。
登録方法は各 URL を参照してください。

3.1 本製品の設定

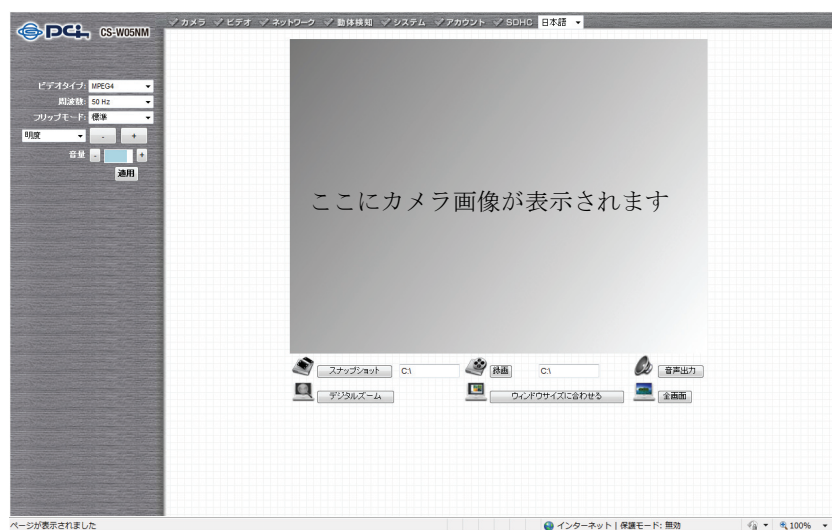
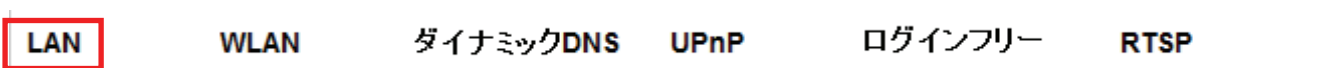
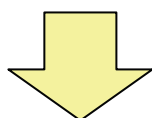
以下の手順で本製品の設定を行ってください。

1. デスクトップのアイコンをクリックし、セットアップユーティリティを起動します。

2. 「CS-W05NM」を選び、「Web 接続」をクリックします。

3.　ログイン画面が表示されますので、下記内容を入力し、[OK]をクリックします。

（1）ユーザ名：半角英数で「admin」（エー・ディー・エム・アイ・エヌ）を入力

（2）パスワード：半角英数で「password」（ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー）を入力

（3）[OK]をクリックします。

4.　本製品の設定画面が表示されます。

5. 設定画面上部にある「ネットワーク」をクリックし、「LAN」を選びます。

6. 「ゲートウェイ」と「プライマリ DNS」にお使いのルータの IP アドレスを入力して、[適用]をクリックします。

LAN

ネットワークの種類：	○ DHCP ◉ 固定IPアドレス
IPアドレス：	192.168.1.200
サブネットマスク：	255.255.255.0
ゲートウェイ：	192.168.1.1
プライマリDNS：	192.168.1.1
セカンダリDNS：	
HTTPポート：	80

PPPoE

PPPoE機能：	○ 有効 ◉ 無効
ユーザ名：	
パスワード：	
MTU：	1392 (512<=MTU値<=1492)

適用

7. 「2.2.3 ダイナミック DNS」を参照して、ダイナミック DNS の各種設定の入力を行います。

以上で、本製品の設定は終了です。次に、お使いのルータの設定を行います。

3.2 ルータの設定をする(ポート転送)

次に、ルータの設定を行います。本章では弊社製品「MZK-WNH」を使って公開するときの設定例を説明します。

1. MZK-WNH の設定画面を開き、画面左の[一般設定]をクリックします。
2. 画面左メニューの「NAT」をクリックします。
3. NAT 機能が「有効」になっていることを確認し「ポート開放」をクリックします。
4. 80 番ポートの転送設定をします。
   (1)「ポート転送を有効にする」にチェックを入れます。
   (2)「ローカル IP」に本製品の IP アドレスを入力します。(例:192.168.1.200、192.168.111.200 など)
   (3)「タイプ」から「両方」を選びます。
   (4)「ポート範囲」の上段と下段にそれぞれに「80」と入力します。
   (5)任意でコメントを入力します。(例:camera など)
   (6)[追加]をクリックします。

5. 手順 4 と同じ操作にて、「4321～4322」番ポートの転送設定をします。
   ★(4)の入力内容が、上段「4321」、下段「4322」となり、他は手順 4 と同じ内容を入力します。

> **≪ご注意≫**
> 本製品とブロードバンドルータを有線で接続しているときは、手順 4 と同じ操作にて、「554」番ポートの転送設定を行ってください。
> ※手順 4 の「ポートの範囲」は上段と下段にそれぞれに「554」と入力します。
> ※無線 LAN で接続しているときは、手順 6 に進んでください。

6. [適用]をクリックすると「設定の保存に成功しました。」が表示されます。
7. 再度[適用]をクリックすると「システムを再起動しています。しばらくお待ちください。」が表示されます。
8. [OK]をクリックし設定画面を閉じます。

以上でルータ側での設定は終了です。

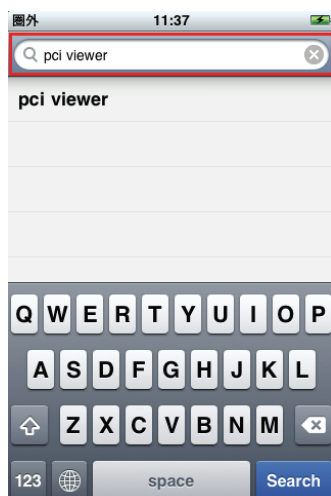
WEB ブラウザから本製品にアクセスするときは、WEB ブラウザのアドレス欄に「http://ダイナミック DNS のサブドメイン名.ホスト名」（例：http://planex.luna.ddns.vc）を入力して、インターネット経由でカメラ画像が表示されることを確認します。
※ダイナミック DNS の設定については、「2.2.3 ダイナミック DNS」を参照してください。

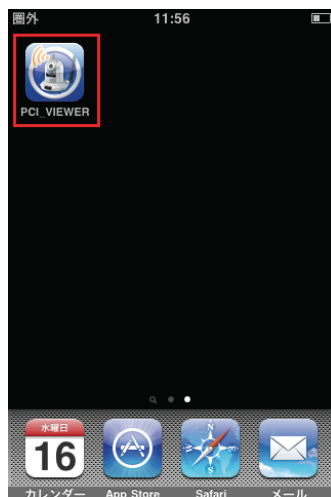
3.3 iPhone でカメラにアクセスする（PCI VIEWER）

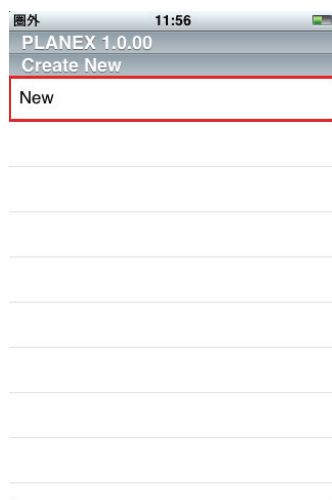
iPhone で専用アプリケーション「PCI VIEWER」を使用すると、本製品の映像をインターネットを通して、外出先などからリアルタイムで表示することができます。本章では、「PCI VIEWER」を使ってカメラにアクセスする方法をご説明します。

※アップルストアの ID・パスワードが別途必要です

1. iPhone メニューから「App Store」を起動します。

2. [検索]をタッチし、入力に「pci viewer」と入力します。

3.　検索結果の[PCI VIEWER]をインストールします。

4.　インストールが完了すると、メニューに「PCI_VIEWER」が追加されます。

5.　「PCI_VIEWER」を起動します。

6.　Create New の[New]をタッチします。

7.　接続先の設定を行います。

（1） Name　：接続名を任意で指定します。

（2） IP Address　：取得したサブドメイン名とドメイン名を入力します。
（例：http://planex.luna.ddns.vc）

（3） Password　：半角英数で「password」（ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー）を入力します。

（4） Port　：80　**※変更しないでください。**

（5） FPS　：5　**※変更しないでください。**

（6） 設定が完了したら[OK]をタッチします。

8.　カメラの画像が表示されます。

9.　終了する場合は[Disconnect]をタッチして下さい。

※　アプリの削除方法は iPhone のマニュアルを参照ください。

第 4 章：Network Camera Viewer を使う

4.1 Network Camera Viewer のインストール

Network Camera Viewer は複数の本製品を管理し、各カメラに動体検知機能の設定や映像を録画するなど、さまざまな機能を使うことができます。

以下の手順を行って、本ソフトウェアをインストールしてください。

1. 本製品付属の CD-ROM をパソコンの CD/DVD-ROM ドライブにセットすると以下の画面が表示されます。「イメージビュアー」をクリックしてください。

≪ご注意≫

●Windows 7/Vista をお使いのとき

・自動再生画面が表示されたときは、「AutoLoader.exe の実行」をクリックします。

・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい]または[許可]をクリックします。

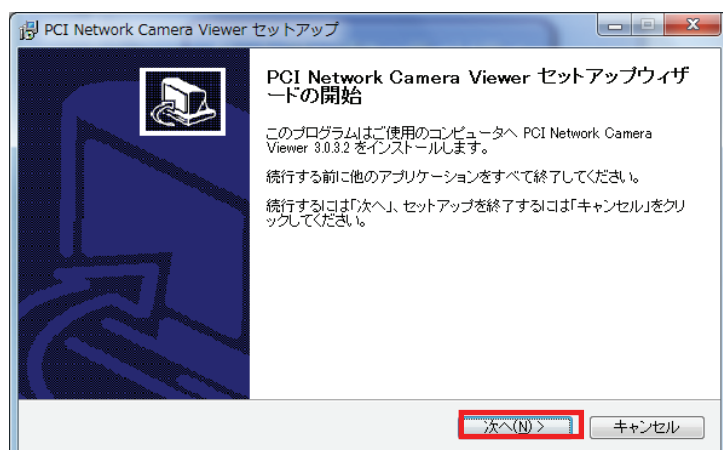
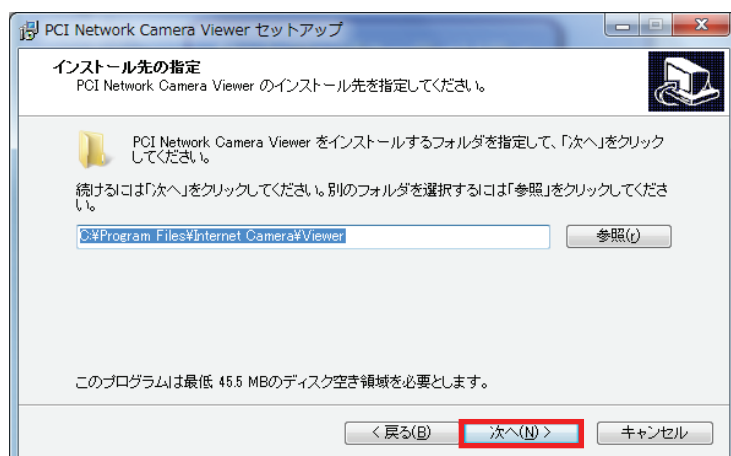
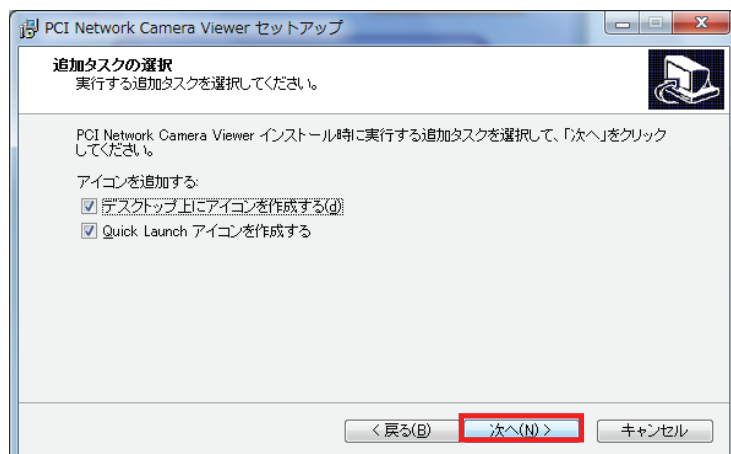
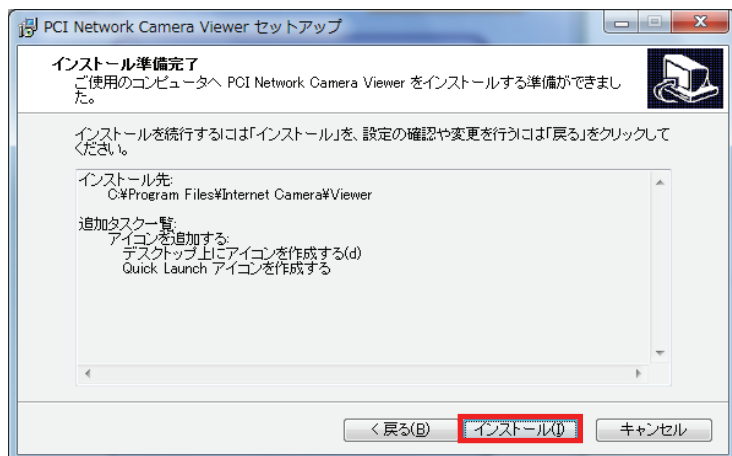
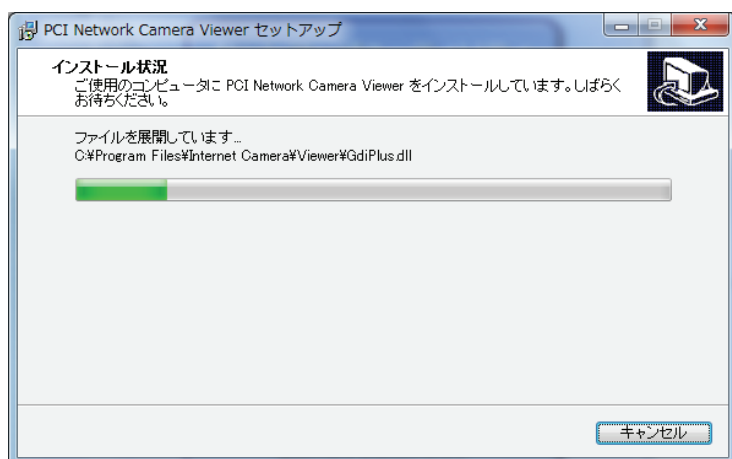
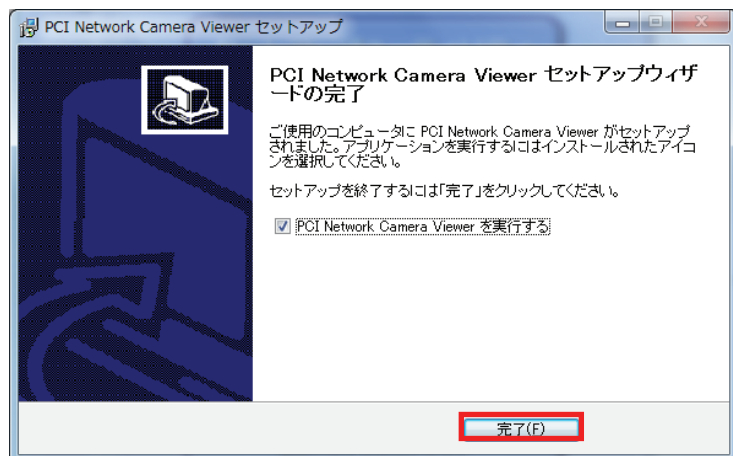
●メニュー画面が表示されないとき

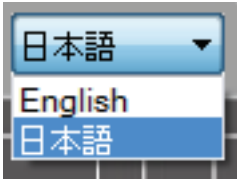
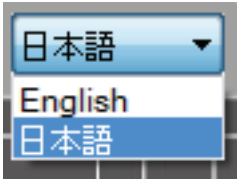
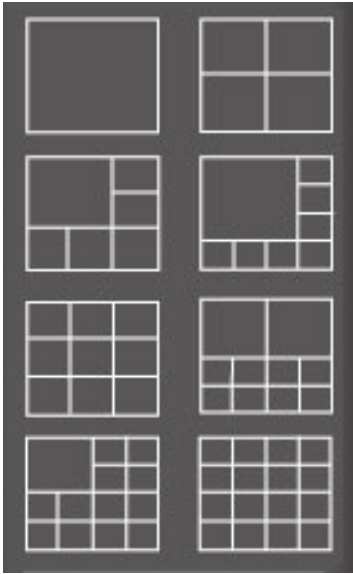
・「コンピュータ」（またはマイコンピュータ）を開き、CD/DVD ドライブのアイコンをダブルクリックします。

●お使いのパソコンに CD/DVD ドライブがないとき

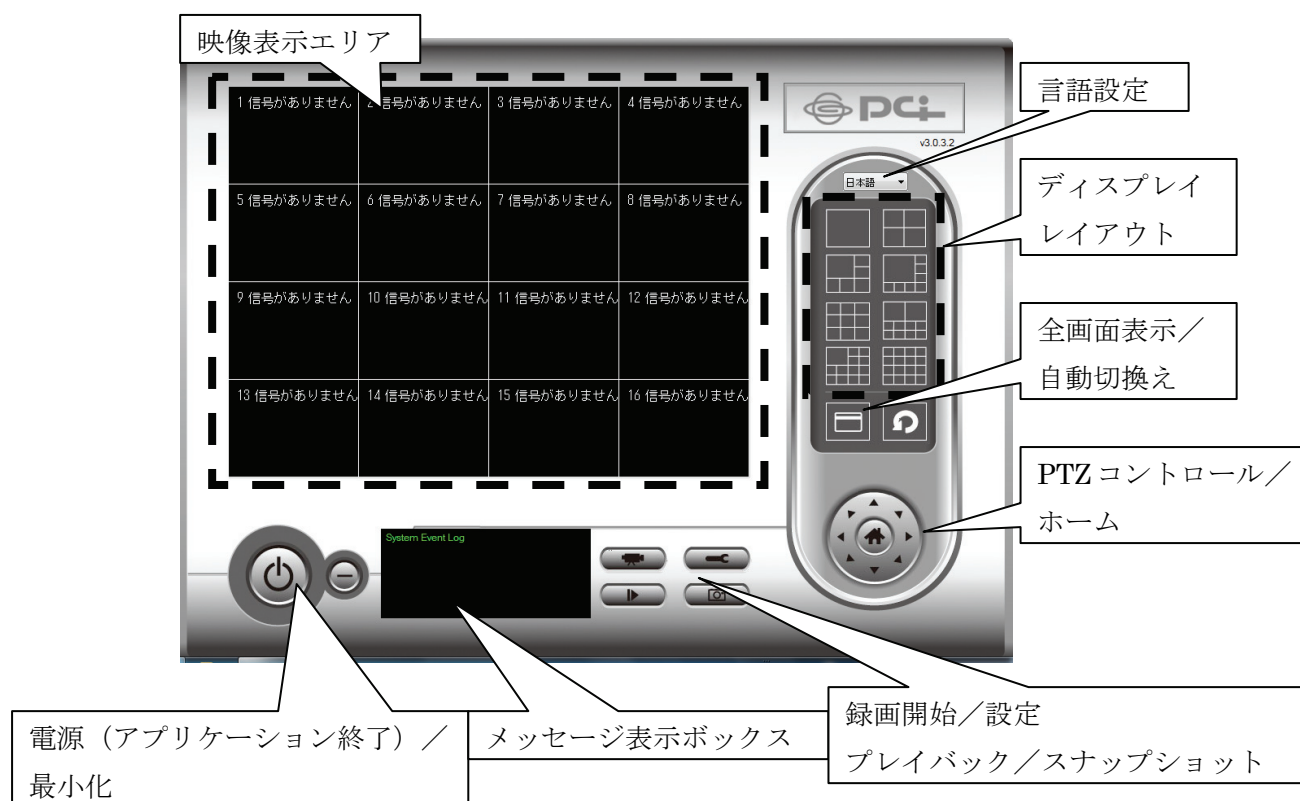
・以下の URL よりソフトウェアをダウンロードしてください。

http://www.planex.co.jp/support/download/camera/cs-w05nm.shtml

2.　以下の画面が表示されますので、[次へ]をクリックします。

3.　[参照]をクリックしてソフトのインストール先を設定することができます。設定の必要がないときは、そのまま[次へ]をクリックします。

4.　デスクトップアイコンやクイックランチャーを作成したいときは、必要な項目のチェックをオンにして、[次へ]をクリックします。

5. ここで、以前の手順で設定した内容が表示されます。内容が正しければ、[インストール]をクリックしてインストールを開始します。

6. 以下の画面が表示されますので、しばらくお待ちください。

7. 以下の画面が表示されたら、ソフトのインストールは完了です。[完了]をクリックして、画面を終了します。
(「PCI Network Camera Viewer」は、[完了]をクリックすると起動します。)
ソフトを後で起動したいときは、「PCI Network Camera Viewer を実行する」のチェックをオフにします。

4.2 Network Camera Viewer を使う.

デスクトップ、またはスタートメニューの「PCI Network CameraViewer」アイコンをクリックして Network Camera Viewer を起動します。

ソフトを起動する前に:

Network Camera Viewer はご使用のモニターの解像度が「1024 x 768」のときのみ動作します。Network Camera Viewer をご使用になる前に、解像度が「1024 x 768」になっているかご確認ください。

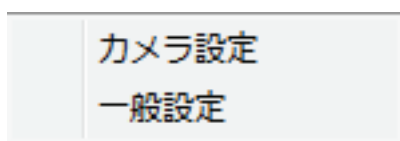
以下に、Network Camera Viewer の各部の説明をします。

使いたい機能の上にカーソルを移動すると、ボタン名を見られます。以下が各ボタンの詳細な説明です。

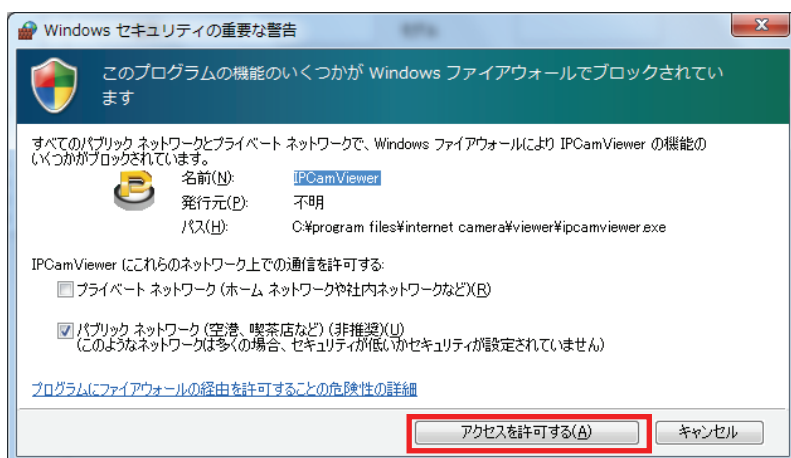
項目名	動作
映像表示エリア	接続されたすべてのカメラの映像がここに表示されます。カメラの映像は、WEB 設定画面で設定した映像が表示されます。WEB 設定画面で日付表示を有効にしていれば、日付が表示されます。また、設定される時刻は、WEB 設定画面で設定した時間です。WEB 設定画面・Network Camera Viewer で動体検知機能を有効にしているときは、動体検知機能が作動します。
言語設定	プルダウンメニューから、画面に表示される言語を選びます。
ディスプレイレイアウト	カメラの表示される映像のレイアウトを変更します（変更したいレイアウトのアイコンをクリックします）。8 種類の表示レイアウトから選べます。ここで選んだレイアウトにて、映像表示エリアにカメラ画像が表示されます。
全画面表示	[全画面表示]をクリックして、全画面モードにします（すべてのカメラの映像のみを表示します）。全画面表示を解除するには、<Esc>キーを押します。
自動切換え	[自動切換え]をクリックすると、Network Camera Viewer がすべての接続されているカメラの映像を自動的に切換えて表示します。スキャン機能を起動するには、[自動切換え]を 1 度クリックします（[自動切換え]アイコンが青になります）。スキャンを停止するには、もう一度クリックします（[自動切換え]アイコンが白になります）。

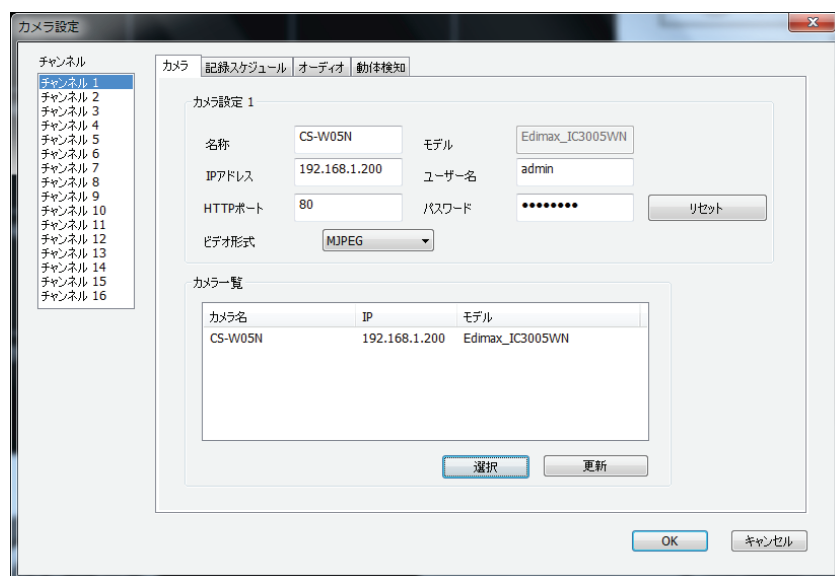
PTZ コントロール	PTZ コントロールリングでは、8 方向から選ぶことができます。PTZ 対応のカメラを接続しているとき、PTZ コントロールリングを使ってカメラが定める方向を変更することができます。※本製品では使用できません。
ホーム	[ホーム]をクリックして、カメラの向きをホーム(初期設定)の位置に戻します。※本製品では使用できません。
録画開始	映像の録画を開始します。
設定	Network Camera Viewer の設定(カメラ設定/一般設定)をします。
プレイバック	録画した映像ファイルの再生をします。
スナップショット	選択したカメラのスナップ写真を撮影します。
メッセージ表示ボックス	「カメラが接続されていません」等、すべてのシステムメッセージを表示します。
電源(アプリケーション終了)	Network Camera Viewer を終了します。
最小化	Network Camera Viewer のウインドウを最小化します。

4.3 Network Camera Viewer を設定する

4.3.1 カメラの設定

Network Camera Viewer を使用する前に、接続したいカメラを設定する必要があります。[設定]をクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

[カメラ設定]を選んで、カメラを設定してください。

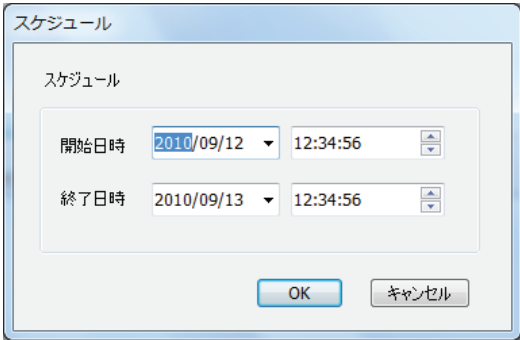
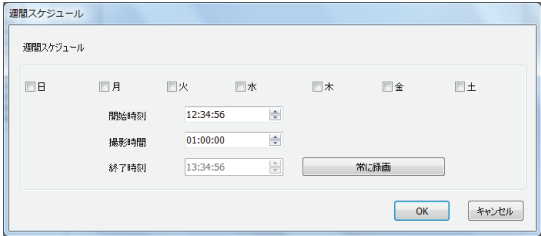
ご注意：以下のようなウインドウが表示されたら、[アクセスを許可する]をクリックしてください。この操作を行わないと、Network Camera Viewer が正常に機能しません。

4.3.1.1 「カメラ」タブ

ここでは、接続したいすべてのカメラの設定を行うことができます。最大 16 台のカメラまで接続できます。

各設定項目の説明は以下のようになります。

項目名	動作
チャンネル	設定したいチャンネル番号を選びます。
カメラ一覧	ご使用のローカルエリアネットワークで検出されたすべてのカメラが「カメラ一覧」ボックス内に表示されます。
選択	「カメラ一覧」ボックス内で設定したいカメラを選び、[選択]をクリックして、すべてのカメラの設定欄に、選んだカメラの設定内容を入力してください。
更新	ご使用のローカルエリアネットワーク上のすべてのカメラを再スキャンします。「カメラ一覧」ボックス内に希望のカメラが表示されないとき、または最後の更新の後に新しいカメラがご使用のローカルエリアネットワークに追加されたときに使います。
名称※1	カメラ名を入力します。初期設定は「CS-W05NM」です。カメラの目的に関連付けてカメラ名を変更できます。
モデル	選んだカメラのモデルが表示されます。この表示は変更できません。
IP アドレス※1	カメラの IP アドレスを入力します。
ユーザー名※1	カメラのユーザ名を入力します。
HTTP ポート※1	カメラの Web ポートを入力します。初期設定は「80」です。
パスワード	カメラのパスワードを入力します。初期設定は「password」です。選んだカメラのパスワードを変更しているときは、パスワードを変更する必要があります。
ビデオ形式※2	本製品の映像のコード化形式を選びます(「MJPEG」または「MPEG4」、「H..264」)。
リセット	「カメラ設定」のすべての欄を空欄にします。

OK	選んだタブの設定を保存します。
キャンセル	選んだタブの設定を取り消します。

※1:[選択]をクリックすると、自動的に入力されます。
※2:カメラでの利用のみ対応しています。

設定したいすべてのチャンネルを設定したら、「OK」をクリックして内容を保存します。すべて正しければ、Network Camera Viewer のメインメニューで、カメラの映像を見ることができます。

4.3.1.2 記録スケジュール

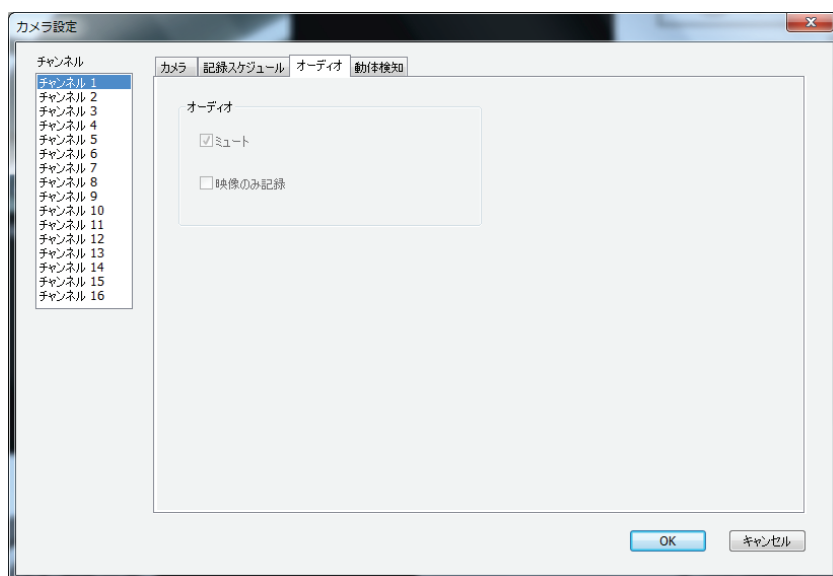
「記録スケジュール」タブでは、映像の録画の時間を事前に設定することができます。これで事前に設定された時間に、すべてのカメラで撮影される映像を保存することができます。

各設定項目の説明は以下のようになります。

項目名	動作
チャンネル	設定したいチャンネル番号を選びます。
スケジュール	選んだカメラで、一度だけの録画予約を設定することができます。この設定は一度だけ適用されます。
新規作成 (スケジュール)	ボタンを押すと、新しいウインドウが表示されます。 「スケジュール」の継続時間を設定します(「開始日時」から「終了日時」までの日付と時間)。[OK]をクリックして設定を保存します。 日付・時間の設定は、必ず未来の時間を設定してください。過去の日付・時間を設定することはできません。

編集	予約録画の時間を修正することができます。「スケジュール」リストで、スケジュールを選びます。[編集]をクリックして、選んだスケジュールの開始時間と終了時間を編集します。
消去	選んだスケジュールの項目を削除します。
新規作成 （週間スケジュール）	ボタンを押すと、新しいウインドウが表示されます。 特定の週日の規定時間に実行されるスケジュールの録画予約の内容を 1 週間で設定することができます。適用されるすべての週日をチェックして、「開始時刻」欄で開始時間を設定してください。録画予約の期間を「撮影時間」欄で設定します（形式は、「HH:MM:SS」です）。その後終了時間が自動的に計算され、「終了時刻」欄に表示されます。[常に録画]をクリックして、毎週日に実行される録画スケジュールを 12:00:00AM から 11:59:59PM まで設定することもできます。 [OK]をクリックして、変更内容を保存します。
編集	予約録画の時間を修正することができます。「スケジュール」リストで、スケジュールを選びます。[編集]をクリックして、選んだスケジュールの開始時間と終了時間を編集します。
消去	選んだスケジュールの項目を削除します。
OK	「記録スケジュール」内の設定を保存します。
キャンセル	「記録スケジュール」内の設定を取り消します。

4.3.1.3 オーディオ

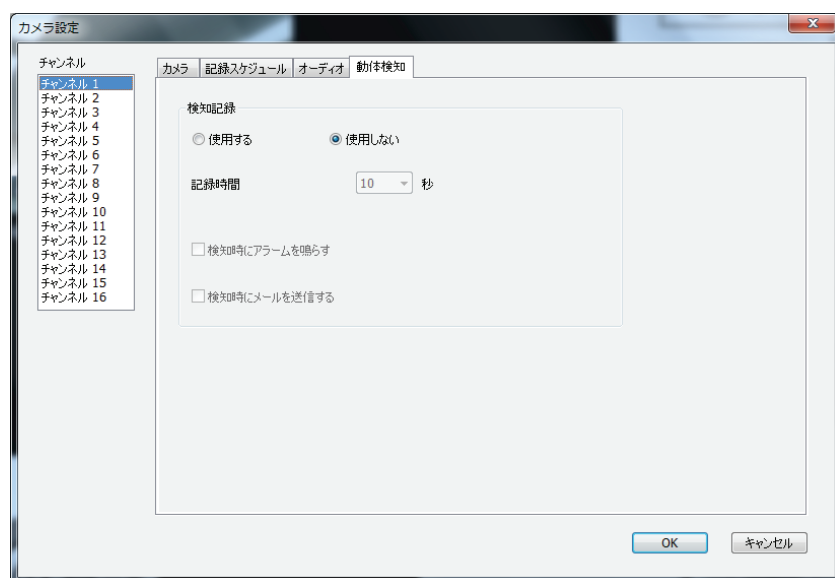
「オーディオ」タブを使って、選んだカメラからの音声についての設定を行います。

各設定項目の説明は以下のようになります。

項目名	動作
チャンネル	設定したいチャンネル番号を選びます。
ミュート	チェックボックスをオンにすると、Network Camera Viewer では、撮影した音声を再生しません。
映像のみ記録	チェックボックスをオンにすると、Network Camera Viewer では、撮影した音声を保存しません。
OK	「オーディオ」内の設定を保存します。
キャンセル	「オーディオ」内の設定を取り消します。

4.3.1.4 動体検知

「動体検知」機能を動作させると、カメラで撮影された動きのみが記録されます。これで必要ない映像は撮影されず、ハードディスクドライブの容量を節約することができます。

警告：常に監視が必要なセキュリティについては、「動体検知」機能の使用はお勧めしかねます。実際には見る必要がある小さな変化が、「動体検知」機能を有効にしたカメラだと反応せず、録画をスタートしない可能性があるためです。

ご注意：
動体検知を行うためには、WEB 設定画面で動体検知機能を有効にしておく必要があります。詳細については「2.4 動体検知」を参照してください。

各設定項目の説明は以下のようになります。

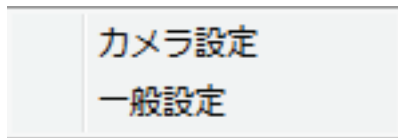
項目名	動作
チャンネル	設定したいチャンネル番号を選びます。
使用する	動体検知機能を有効にします。
使用しない	動体検知機能を無効にします。
記録時間	プルダウンメニューより、動作が検出されてから、カメラが録画をする継続時間を、秒単位で選びます。
検知時にアラームを鳴らす	カメラが動作を検出すると、アラームを鳴らします。
検知時にメールを送信する	カメラが動作を検出すると、事前に設定していたアドレスにメールを送ります。

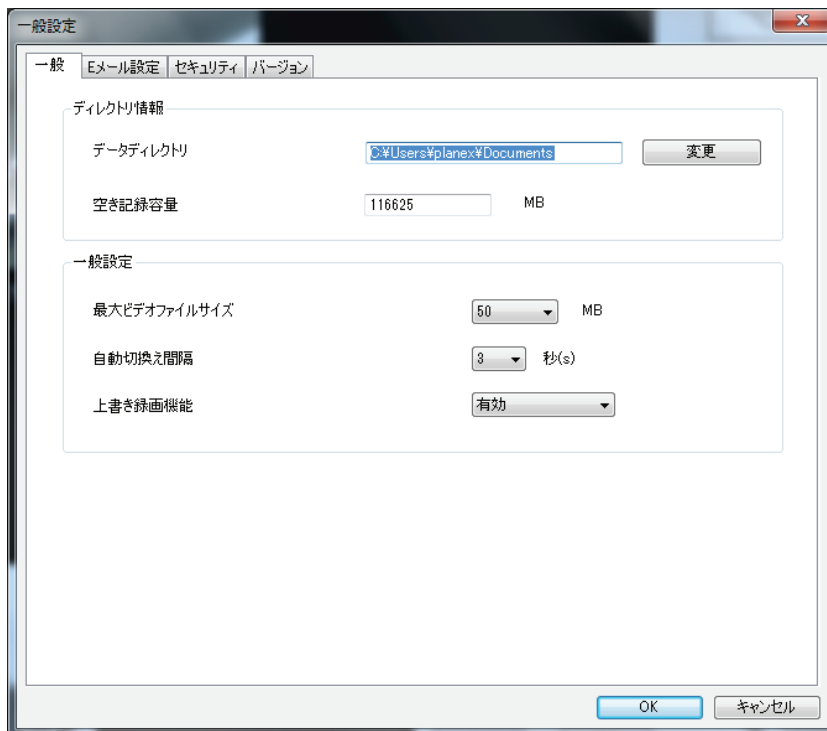
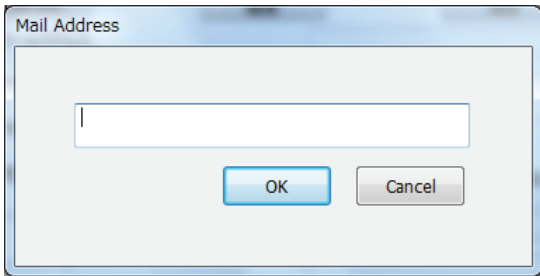
OK	「動体検知」内の設定を保存します。
キャンセル	「動体検知」内の設定を取り消します。

4.3.2 一般設定.

ここで、Network Camera Viewer のシステム全体の設定ができます。

[設定]をクリックすると、ポップアップメニューが表示されますので[一般設定]を選びます。

カメラ設定
一般設定

4.3.2.1「一般」タブ

ファイルを保存するディレクトリや、録画容量などの通常設定ができます。

各設定項目の説明は次項のようになります。

項目名	動作
データディレクトリ	録画した映像や撮影した画像を保存するディレクトリ（フォルダ）を設定します。「変更」をクリックすると、ディレクトリをご使用のハードディスクに設定します。
空き記録容量	残りの記憶容量が表示されています。
最大ビデオファイルサイズ	各映像ファイルの最大ファイルサイズを設定します。ファイルのサイズが設定した値を超えたときは、Network Camera Viewer は映像を録画するために別のファイルを開きます。
自動切換え間隔	「自動切換え」機能を起動したときに、各カメラ間で切り替わる時に一時停止する時間を設定します。
上書き録画機能	ハードディスクの空き容量が満杯になったときの動作を設定します。 無効：録画した映像ファイルを上書きしません。 有効：録画した映像ファイルを上書きします。 （古いファイルから順に上書きします。）
OK	「一般」内の設定を保存します。
キャンセル	「一般」内の設定を取り消します。

4.3.2.2「E メール設定」タブ

動体検知機能を使って、カメラが撮影した画像を含むメールを受信するようにしたいときは、先にお使いのメール関連の設定値を設定してください。

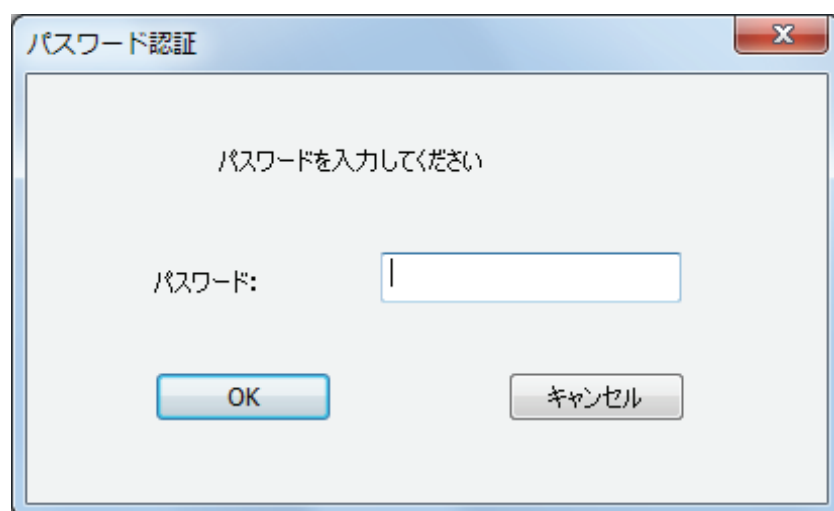
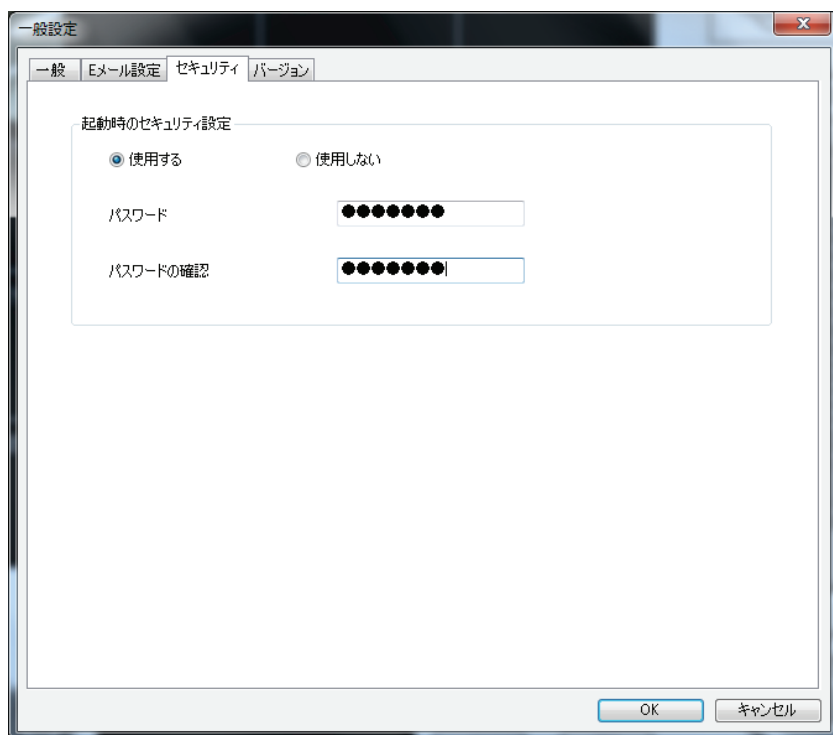
各設定項目の説明は以下のようになります。

項目名	動作
E メール件名	送信メールの件名を設定します。
宛先メールアドレス	設定したすべてのメールアドレスが表示されます。
新規作成	ボタンをクリックすると、メールアドレスを入力する画面が表示されます。 Mail Address OK Cancel [OK]をクリックして、変更内容を保存します。
編集	「宛先メールアドレス」ボックスからメールアドレスを選んで、「編集」をクリックしてメールアドレスを編集します。
消去	選んだメールアドレスを削除します。

送信メールアドレス	メール送信者のメールアドレスを指定します。
SMTP サーバ	ご使用になるSMTP サーバのIP アドレスまたはホスト名を指定します。ほとんどのインターネット接続業者は、契約者に SMTP サーバを使うことを許可しています。どの SMTP サーバを使うかわからないときは、ご使用のメールソフトの設定を参照するか、インターネット接続業者、またはネットワーク管理者にお問合せください。
SMTP ポート	ご使用になる SMTP サーバのポート番号を入力します。初期設定は「25」です。
SMTP 認証	ご使用の SMTP サーバが認証を要求しているときは、「使用する」を選びます。認証を要求していないときは、「使用しない」を選びます。ご使用の SMTP サーバが認証を要求するかどうか分からないときは、メールソフトの設定を参照するか、インターネット接続業者、またはネットワーク管理者にお問合せください。
SMTP アカウント	ご使用の SMTP サーバの SMTP アカウント（ユーザ名）を入力します。ほとんどの場合、ご使用のPOP3 ユーザ名と同一です（メールを受信していたもの）。ご不明点がありましたら、メールソフトの設定を参照するか、インターネット接続業者、またはネットワーク管理者にお問合せください。
SMTP パスワード	ご使用の SMTP サーバの SMTP パスワードを入力します。ほとんどの場合、ご使用の POP3 パスワードと同一です（メールを受信していたもの）。ご不明点がありましたら、メールソフトの設定を参照するか、インターネット接続業者、またはネットワーク管理者にお問合せください。
POP before SMTP	メール送信(SMTP)する前にメール受信（POP3）で ID とパスワードで認証を行い、認証を得られた利用者端末の IP アドレスからの送信を可能とするサーバもあります。POP サーバが認証を要求したときは、「使用する」を選びます。無効にするときは「使用しない」を選びます。
POP3 サーバ	受信メール（POP3）サーバの IP アドレス、またはホスト名を入力します。
POP3 ポート	ポート番号を入力します。
POP3 アカウント	POP3 アカウント（POP3 サーバのユーザ名）を入力します。
パスワード	POP3 サーバのパスワードを入力します。
OK	「E メール設定」内の設定を保存します。
キャンセル	「E メール設定」内の設定を取り消します。

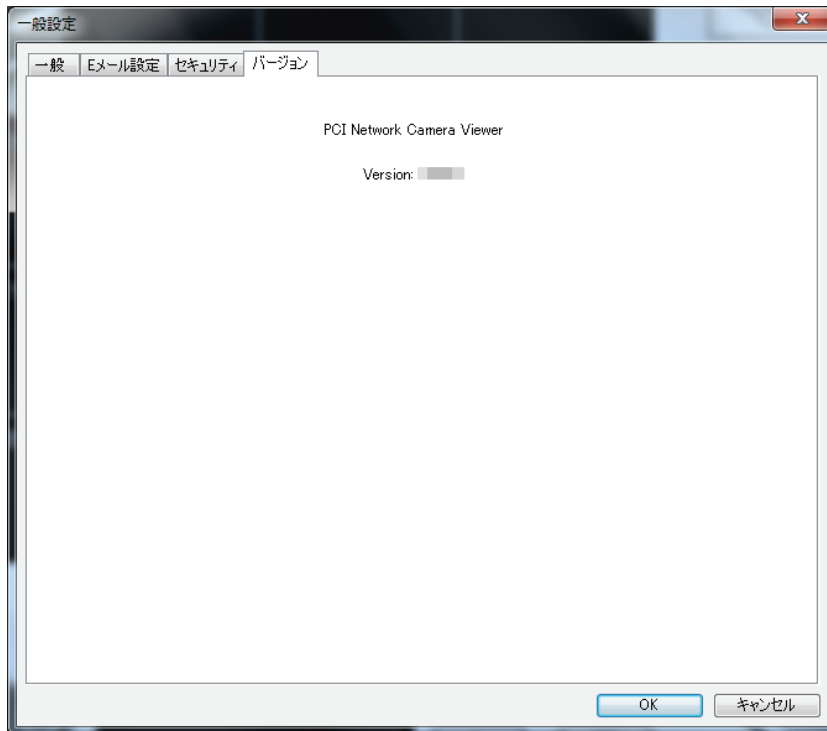
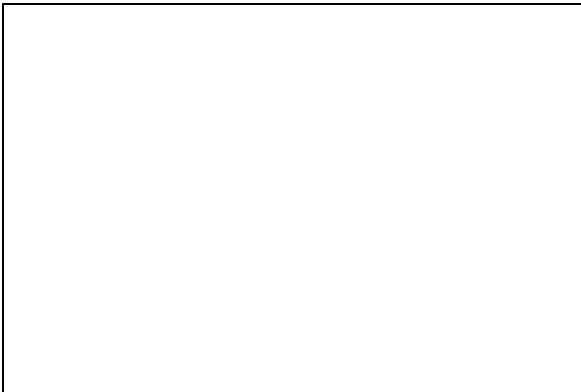
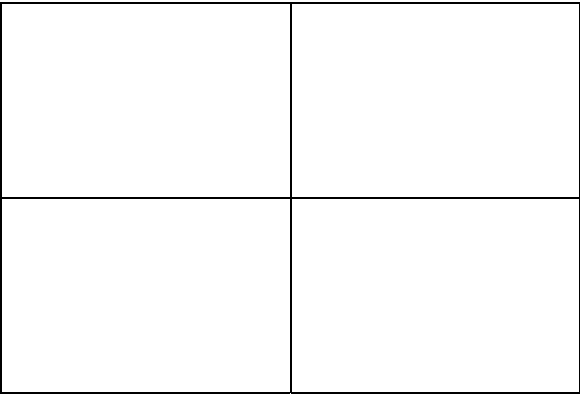
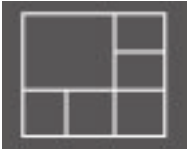
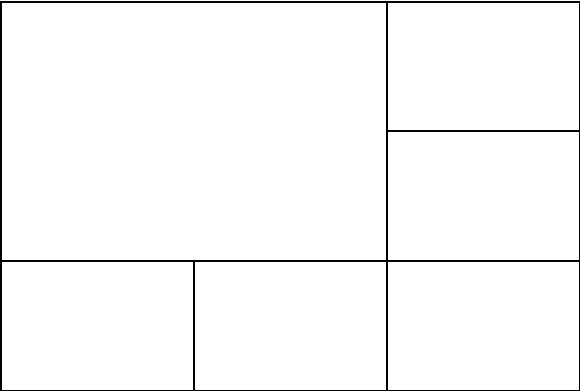
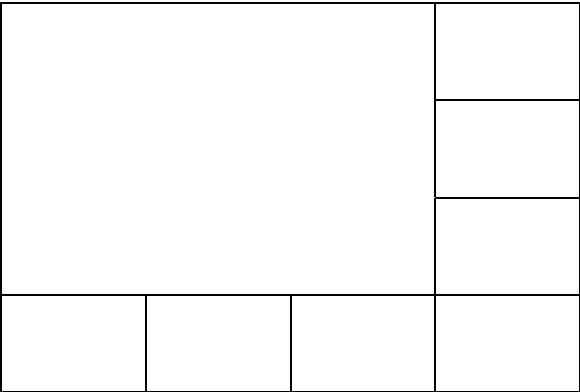
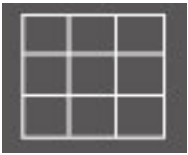
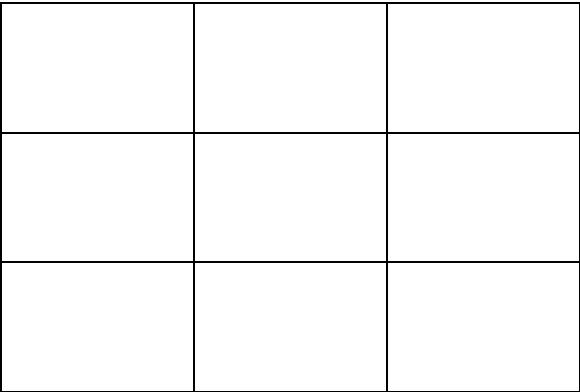
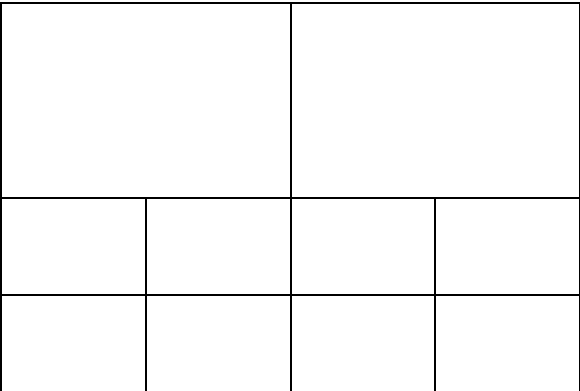
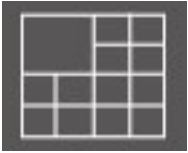
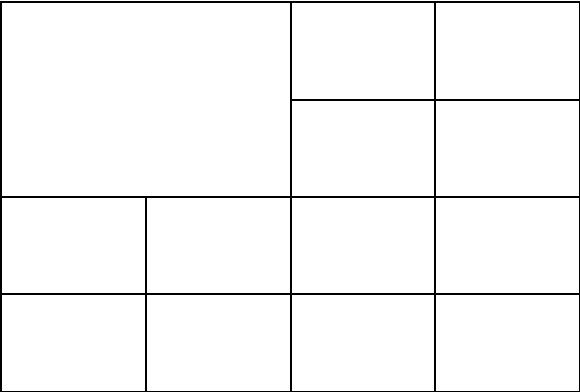
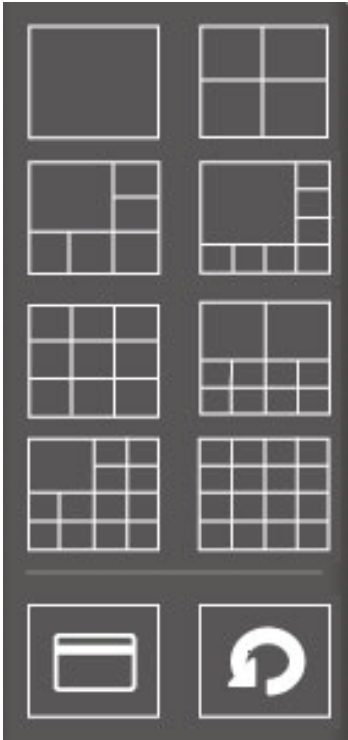
4.3.2.3 「セキュリティ」タブ

他者が Network Camera Viewer にアクセスするのを防ぎたいときは、アクセスを防ぐためにパスワードを設定することができます。

パスワードを設定すると、Network Camera Viewer をご使用になるときは、パスワードを毎回入力することが必要になります。

パスワードを設定するには、「一般設定」メニュー内の「セキュリティ」タブをご使用ください。

各設定項目の説明は以下のようになります。

項目名	動作
使用する	ソフトをスタートさせるときに、パスワード認証を要求します。
使用しない	ソフトをスタートさせるときに、パスワード認証を要求しません。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワードの確認	パスワードをもう一度入力します。
OK	「セキュリティ」内の設定を保存します。
キャンセル	「セキュリティ」内の設定を取り消します。

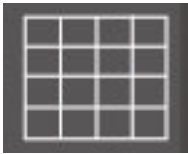
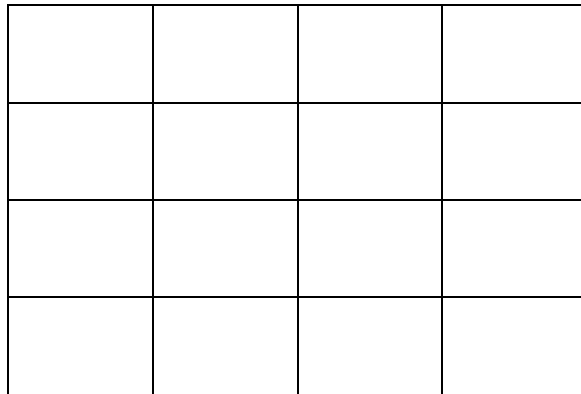
4.3.2.4「バージョン」タブ

「バージョン」タブには、ご使用の Network Camera Viewer のバージョンが表示されます。

4.4 表示レイアウトの変更

Network Camera Viewer では、8 通りの表示レイアウトの使用ができます。

各レイアウトでは表示されるカメラの画面の数と、カメラの配列が異なります。特定のレイアウトのアイコンをクリックすると、映像を表示する画面は、そのレイアウトに従って表示されます。

レイアウトスタイル 1:1 台のカメラのみ	1 台のカメラの映像のみ表示されます。

レイアウトスタイル 1:4 台のカメラ	4 台までのカメラの映像が表示されます。
レイアウトスタイル 1:6 台のカメラ	6 台までのカメラの映像が表示されます。
レイアウトスタイル 1:8 台のカメラ	8 台までのカメラの映像が表示されます。

レイアウトスタイル 1:9 台のカメラ	9 台までのカメラの映像が表示されます。
レイアウトスタイル 1:10 台のカメラ	10 台までのカメラの映像が表示されます。
レイアウトスタイル 1:13 台のカメラのみ	13 台までのカメラの映像が表示されます。

レイアウトスタイル 1:16 台のカメラ	16 台までのカメラの映像が表示されます。

4.5 全画面表示モード

監視している映像をモニターで表示させるのに、利用できるすべてのスペースを使いたいときは、「全画面表示」をクリックして表示モードを全画面表示モードに切換えることができます。

全画面表示モードを解除するには、<ESC>を押します。

4.6 自動切換え

1 台以上のカメラを設定し、設定したすべてのカメラの間で表示画面を切換えたいときは、「自動切換え」をクリックします。

ご注意：
設定されているカメラが接続されていないときは、スキャン・シーケンスで表示されています（映像は表示されず、ディスプレイの左上の隅に「切断しました」の文字が表示されます）。

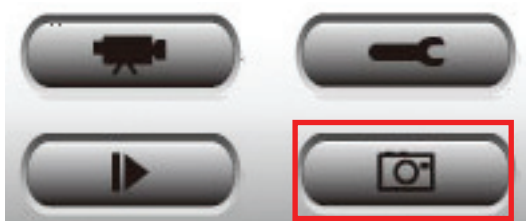
自動切換え機能を起動するには、[自動切換え]を1 度クリックします（[自動切換え]アイコンが青になります ）。
自動切換えを停止するには、もう一度クリックします（[自動切換え]アイコンが白になります）。

4.7 PTZ

パン−チルト機能対応のカメラでは、カメラが撮影している範囲とは違う場所を見るときに、カメラが定めている方向を変えることができます。

映像表示エリアで希望の映像をクリックしてカメラを選び、カメラを動かしたい方向に該当するボタンをクリックします（8 方向から選べます）。カメラの方向をホーム（初期設定）の位置に戻すには、「ホーム」( )をクリックします。

4.8 スナップショット

選んだカメラのスナップ写真を撮影して、あらかじめ設定した保存先の「スナップショット」サブフォルダに保存することができます。

スナップショットボタンを 1 度押して、スナップショットを撮影します。

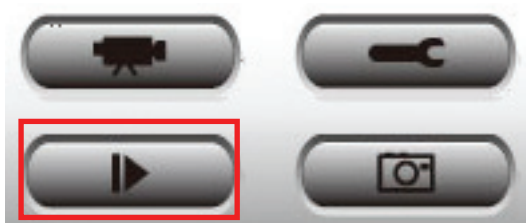
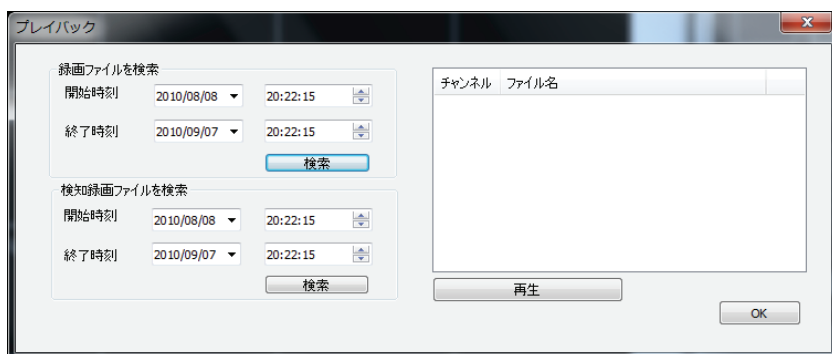
4.9 録画開始.

「録画開始」ボタンをクリックすると、選んだカメラで、手動で映像の録画を始めることができます。

録画が始まると、メッセージ表示ボックスに「1/1 10:00:00, Camera 2 Start Manual」のようなメッセージが表示されます。これは、カメラ 2 が、1 月 1 日の 10:00:00 に手動で録画をスタートしたということを表しています。

録画をストップするには、「録画停止」ボタン(「録画開始」ボタンと同じボタンです)をクリックします。するとメッセージ表示ボックスに「1/1 10:00:00, Camera 2 Stop Manual」のようなメッセージが表示されます。

4.10 プレイバック

「プレイバック」ボタンを押すと、すべての録画した映像を再生することができます。

「プレイバック」画面が表示されます。

映像を再生する前に、映像ファイルを検索する必要があります。映像検索には 2 種類の方法があります。「録画ファイルを検索」（特定の時間内に保存されたすべての映像ファイルを検索します。）と「検知録画ファイルを検索」（動体検知機能で撮影され、特定の時間内に保存されたすべての映像ファイルを検索します。）です。

開始時刻（開始時刻は、終了時刻の 1 ヶ月前の日付が初期設定として表示されます。）と終了時刻に、映像を検索したい期間を設定して、[検索]をクリックします（「録画ファイルを検索」か「検知録画ファイルを検索」で）。すべての検索された映像が右のボックス内に表示されます。再生したい映像を選んで、[再生]をクリックして再生します

第 5 章:付録

5.1 製品仕様.

型番	CS-W05NM
カメラ部仕様	
映像素子	1/4 インチ CMOS
レンズ	f:5.0mm, F:2.8, フォーカス:マニュアルフォーカス
視野角	53°(対角線)
画素数	130 万画素
解像度	MJPEG: 1280x1024(SXGA), 640x480(VGA), 320x240(QVGA)
	MPEG4: 1024x768(XGA), 640x480(VGA), 320x240(QVGA)
	H.264: 1280x1024(SXGA), 640x480(VGA), 320x240(QVGA)
ズーム	デジタルズーム:100%~400%, 光学ズーム:非対応
ホワイトバランス	自動
ゲインコントロール	自動
露出	自動
マイク部仕様	
感度	−36±3dB (0dB=1V/Pa,at 1KHz) 2.0V 2.2 KΩ
周波数帯域	70Hz−1KHz
S/N 比	58db
基本機能	
画像圧縮方式(動画)	MJPEG, MPEG4, H.264
画像圧縮方式(静止画)	JPEG(動画方式:MJPEG 設定時)
	Bitmap(動画方式:MPEG4, H.246 設定時)
フレームレート設定	30, 15, 10, 5, 3, 1 (フレーム/秒)
画質設定	明度, 彩度, シャープネス
画像送出機能	FTP, E メール, SD/SDHC メモリカード
ネットワーク設定	固定 IP アドレス
	DHCP クライアント
	PPPoE クライアント
アクセスコントロール	ユーザごとに機能を制限(最大ユーザ登録数:16)
UPnP	対応
ダイナミック DNS	DynDNS, Cybergate

無線部	
対応規格	IEEE802.11n, IEEE802.11g, IEEE802.11b
チャンネル数	1～13ch
周波数帯(中央周波数)	2.4GHz 帯(2,412～2,472MHz)
伝送速度	IEEE802.11n: 最大 150Mbps
	IEEE802.11g: 54, 48, 36, 24, 18, 12, 9, 6Mbps
	IEEE802.11b: 11, 5.5 , 2, 1Mbps
伝送方式	IEEE802.11n:直交波周波数分割多重(OFDM 方式)
	IEEE802.11g:直交波周波数分割多重(OFDM 方式)
	IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS 方式)
アンテナ	1(取り外し可能)
アクセス方式	インフラストラクチャモード, アドホックモード
セキュリティ	WEP(64bit/128bit)
	WPA-PSK(TKIP/AES)
	WPA2-PSK(TKIP/AES)
WPS	対応(ハードボタン, PBC 方式, PIN 方式)
有線部	
対応規格	IEEE802.3(10BASE-T), IEEE802.3u(100BASE-TX)
ポート数	1 ポート
コネクタ形状	RJ-45 コネクタ
伝送速度	10/100Mbps(オートネゴシエーション)
ネットワークケーブル	UTP/STP LAN ケーブル
	10Mbps:カテゴリ 3 以上, 100Mbps:カテゴリ 5 以上
ハードウェア仕様	
LED	Power, WLAN, LAN
インターフェース	WPS ボタン, リセットボタン, 音声入力, 音声出力端子 (3.5mm ミニジャック), SD/SDHC メモリーカードスロット
電源	入力:AC 100V-240V, 50/60Hz, 0.3A 出力:DC 12V, 1A
消費電力	4.2W
外形寸法	約 113(W) x 80(H) x 43(D)mm (アンテナを除く突起部を含)
重量	154.5g(アンテナ込み)
動作時環境	温度:0～40℃
	湿度:10～90% (結露なきこと)
保管時環境	温度:0～40℃
	湿度:10～90% (結露なきこと)
ソフトウェア仕様	
動体検知	対応/検知レベル 10 段階

画像表示	撮影画像表示/最大 16 画面(ユーティリティ使用時)
時刻表示	タイムスタンプ対応
その他	
対応 OS	Windows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit)/XP 日本語版
動作環境	Internet Explorer 6.0 SP1 以上, ユーティリティ
保証期間	1 年間

■注意事項

※ アドホックモードでの利用は IEEE802.11g/b に限られます。
※ ブラウザは Internet Explorer のみサポートします。
※ MPEG4、H.264 の再生には、Xvid が必要になります。お使いの環境で再生できない場合、別途インストールが必要です。
※ 本製品は、屋内撮影を専用とした使用を奨励するものです。直射日光の当たらない場所へ設置の上、ご利用頂けます様お願い致します。カメラに照度の高い画像が取り込まれた場合、画像が正しく表示されない、あるいはカメラの部品を破損する恐れがありますので、ご注意願います。
※ ダイナミック DNS の利用は、事前にアカウントの登録が必要です。サービスの詳細は、それぞれのサイトをご覧ください。
※ 本製品は、防水・防滴仕様ではありません。
※ 有線/無線は排他利用となります。
※ 表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※ 解像度を SXGA,XGA に設定すると、フレームレートは最大 15 になります。
※ 製品の仕様は、予告なく変更する場合がありますのでご了承願います。

5.2 トラブルシューティング

もし本製品が正常に動作しないとき、販売店または弊社テクニカルサポートに連絡する前に、本章に記載されているトラブルシューティングをご確認ください。トラブルの解決に役立つ可能性があります。

症状	可能な解決策
電源が入らない	本製品の電源がはいらないときは、次の内容を確認してください。 ・ AC アダプタが正しく接続されているか ・ 同梱品以外の AC アダプタを使用していないか ・ 延長コードやタップを使用しないときはどうか ・ 他のコンセント差込口ではどうか ・ 正しい電源、電圧で使用しているか それでも改善されない場合は、恐れ入りますが、本製品の不具合の可能性がございますので、同梱の「はじめにお読みください」裏面記載の保証規定を必ずご確認頂き、ご同意のうえで、修理を依頼してください。 ★同意頂けない場合は、ご購入の販売店にご返却ください。 但し、お客様の過失で製品にキズ、欠損、欠品などがある場合にはご返却できません。
カメラ画像が表示されない	カメラ画像が表示されないときは、次の内容を確認してください。 ・ LAN ケーブルが正しく接続されているか ・ 確認したブロードバンドルータの IP アドレスに誤りがないか ・ 本製品の IP アドレスに誤りがないか ・ ActiveX アドインのインストールは完了しているか ・ 他のパソコンではどうか 設定用パソコンとの接続、ブロードバンドルータとの有線接続、無線 LAN 接続のうち、どこまでが画像が表示され、どこから表示されなくなったかによって、問題点の切り分けができますので、カメラ画像が表示されなくなった前の手順から再度設定をお試しください。
無線 LAN がつながらない	無線 LAN がつながらないときは、次の内容を確認してください。 ・ WLAN 設定画面で、接続したいアクセスポイントが表示されているか ・ 無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）と同じ SSID を選んでいるか ・ 無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）と同じ暗号化キーを入力しているか ・ 無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）と本製品の距離が遠くないか ・ 無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）と本製品の間に障害物がないか ・ 電子レンジや他通信機器が近くにないか

	お使いの無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）の取り扱い説明書をご確認頂き、無線 LAN 設定を再度ご確認ください。
映像の更新がとても遅い	映像の更新がとても遅いときは、次の内容を確認してください。 ・ フレームレートを 30 に近い数字に設定して変化があるか ・ 解像度を低く設定して変化があるか 本製品をインターネットから接続していたら、インターネット接続の速度の遅さが原因である可能性があります。そのときは、本製品が原因ではありません。しかし、ネットワーク接続が遅いときは、より低いフレームレート/解像度に設定してください。
映像がぼやける	映像がぼやけるときは、次の内容を確認してください。 ・ 柔らかい布を使用してカメラのレンズを拭いて変化があるか ※少量の水を布に含ませても良いですが、アルコールやその他の化学溶液を使用しないでください。 ・ 明るさの設定を調整して変化があるか ・ もし本製品が設置してある場所に照明があったときは、照明をつけて映像がより鮮明になっていないか
本製品で撮影した映像をメールや FTP で送信されない	本製品で撮影した映像をメールや FTP で送信されないときは、次の内容を確認してください。 ・ スパムメール対策でブロックされていないか ・ お客様が FTP にデータをアップロードする許可を受けているか ※許可を受けているかどうかは「テストファイルの送信」ボタンをクリックすることで確認できます。 ・ SMTP サーバが認証を要求しているときは、SMTP サーバのユーザ名/パスワードが正しいか ※正しいかかどうかは「テストメールを送信」ボタンをクリックすることで確認できます。 ・ 動体検知の感度をより高い設定に変更して変化があるか